

要 覧

平成23年度

宮 城 県 図 書 館

目 次

I	沿革・概要	1
1	図書館のあゆみ	2
2	施設概要	6
3	組織・事務分掌	7
II	宮城県図書館振興基本計画	8
	宮城県図書館振興基本計画	9
III	平成22年度概況	10
1	概況	11
2	平成22年度予算	12
3	実施事業の概況	13
	(1) 生涯学習に役立つ図書館	13
	(2) 情報の拠点としての図書館	20
	(3) 次世代を育成する図書館	23
4	平成22年度宮城県図書館協議会	27
5	平成22年度図書館資料利用状況等(統計)	28
6	広報活動並びに刊行物	39
7	平成22年度の主な行事	40
IV	平成23年度事業計画	42
1	平成23年度予算	43
2	平成23年度事業計画	44
3	平成23年度宮城県図書館協議会	49
V	資料	50
1	特殊文庫	51
2	所蔵資料目録刊行状況	52

I 沿革・概要

1 図書館のあゆみ

- 明治14年 7月 宮城書籍館を仙台市勾当台通28番地 宮城師範学校内に創設 (25日)
講堂 (116㎡) を閲覧室, 書庫 (66㎡ 2階建) を業務室と書庫に利用。蔵書数17, 682冊
- 25年 5月 大槻文彦 (当時の尋常中学校長 国語辞典『言海』の著者) が第 8代館長を兼務
- 26年 1月 宮城師範学校移転後, 附属小学校校舎を修築し, 延304㎡の独立館舎となる
- 40年 4月 名称を宮城県立図書館と改称
- 大正元年10月 現在の勾当台公園南辺に独立館舎新築落成 (延面積1, 740㎡, 蔵書数68千冊)
- 8年11月 名称を宮城県図書館に改称
- 昭和 6年10月 宮城県図書館創立50周年・青柳文庫創立100周年記念式典を挙行 (13日)
- 8年10月 図書館令により宮城県中央図書館に指定
- 20年 4月 戦災を避けるために貴重な図書類 (8, 557冊) を宮城町上愛子の石垣彦左門, 同町芋沢の佐藤兵之進両家の土蔵に疎開する
- 20年 7月 仙台空襲のため館舎, 書庫及び図書類全焼 (9日深夜~10日早朝)
- 24年11月 宮城県庁西側 (旧養賢堂跡地) に図書館落成 (建築面積725㎡, 延面積1, 091㎡)
- 24年12月 伊達家より伊達文庫約35, 000冊を購入 (25日)
- 25年 3月 大槻文庫79種, 214点が寄贈される
- 31年 4月 国立国会図書館よりP Bレポート (米国務省内のReport of Publication Board) の貸与を受け, 東北大学内に宮城県図書館分室P Bレポート東北地区センターを置く
- 33年12月 児童会館 (新坂通) に「分室こどもとしょかん」を開設し児童書を移管
- 37年 4月 P Bレポートセンターを東北地区科学技術資料館と改称
- 38年 4月 宮城県図書館館則の公布, 施行
- 39年10月 宮城県図書館新築に関する請願について, 県議会厚生文教常任委員会について採決
- 40年 9月 宮城県議会において, 起債3, 000万円が決定し補正予算5, 000万円計上提案され, 県図書館新築決定
- 40年12月 仙台市榴ヶ岡 5番地を図書館用地にするため, 県開発公社と孝勝寺役員代表 (所有者) が土地売買契約締結 (用地面積3781. 25㎡)
- 41年 1月 昭和41年度図書館建築費国庫補助金1, 500万円交付決定
- 41年 5月 宮城県教育委員会行政組織規則の施行に伴い, 総務課, 資料課, 奉仕課の 3課制を実施
- 42年 1月 仙台市榴ヶ岡 5番地に県図書館新築のため, 起工式挙行
- 43年 1月 昭和43年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
宮城県図書館を仙台市榴ヶ岡 5番地に新築落成, 開館 (18日, 延面積4, 040㎡, 蔵書数19万冊)
昭和31年 4月東北大学内に設置した東北地区科学技術資料館を新館に移転
- 43年 9月 配本車の運行開始, 県内69市町村に配本所設置
- 44年 4月 宮城県図書館利用規定 (昭和44年 4月 1日社第469号承認) を制定, 施行
- 44年 7月 移動図書館車「こかげ号」運行開始。県内23市町村を対象にへき地を選び53駐車場を設置
- 45年 1月 宮城県図書館協議会規則公布, 施行
- 49年10月 昭和49年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
- 50年10月 昭和50年度全国公共図書館整理部門研究集会開催
- 51年 3月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 3課 7係を設置
- 52年 5月 第28回北日本図書館大会開催
- 53年 6月 宮城県沖地震 (12日)。地震による被害のため 6日間休館
- 53年10月 移動図書館車「こかげ号」更新
- 56年10月 創立100周年記念式典を挙行 (31日)
- 58年 7月 本館北側に積層書庫を増築落成 (建面積246. 35㎡, 延面積1181. 10㎡)。書庫増築工事に伴い, 電動書架, 積層書架, 昇降機等を増設
- 59年 3月 創立100周年記念事業として『宮城県図書館百年史』を発行

- 昭和60年10月 国際青年年記念「みやぎ青年文庫」開設
全国図書館大会開催
- 61年 2月 日曜開館に伴う館則の一部改正（休館日）公布
61年 3月 利用規程の一部改正（閉館時間）
61年 4月 日曜開館始まる
61年11月 『宮城県図書館協会だより』創刊
62年 9月 新書庫 4・5層空調工事完了
62年10月 仙台通産局特許情報閲覧室が太陽生命ビル内に開所したため本館での閲覧を休止
63年 4月 宮城県図書館協会研究委員会から研究報告「県内図書館サービスネットワークのありかたに関する研究」発表
63年 6月 コミネット仙台パソコン通信加入。通信開始（行事等の案内）
63年 7月 特集文庫「21世紀ライブラリー」開設（分類にNDC 8版を採用）
- 平成元年 6月 宮城県図書館資料収集方針施行
元年 8月 松島瑞巖寺所蔵の仙台版木1,700枚を移管
元年11月 特許公報類地方閲覧所を廃止
2年 3月 図書館情報ネットワークシステム調査委員会から教育長あて報告書提出
2年 6月 本館所蔵『坤輿万国全図』が国の重要文化財に指定
3年 2月 宮城県図書館館則の一部を改正する規則（休館日）公布
3年 3月 宮城県図書館協議会から館長あて協議会審査報告書『宮城県図書館の整備充実方策について』提出
3年 6月 協力車運行開始（5コース，月1回運行）
3年 7月 特集文庫「東北学ライブラリー」開設
3年 9月 有識者等からなる宮城県図書館建設委員会設置
4年 7月 文仁親王殿下，文仁親王妃紀子殿下来館（20日）
宮城県図書館建設委員会から県教育長あて「宮城県図書館建設基本構想」提出
4年10月 第4回全国生涯学習フェスティバル協賛事業開催（3事業）
6年 3月 移動図書館巡回事業廃止
宮城県図書館情報ネットワークシステム概要設計完成
6年 4月 特集文庫「宮城学習の森ライブラリー」開設
6年12月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』（着色）6幅修復完了
7年 1月 宮城県図書館調査専門会議設置
7年 4月 第3回宮城県図書館調査専門会議開催
7年 6月 平成7年度北日本地区公共図書館研究協議会，第46回北日本図書館大会，第11回宮城県図書館大会開催（於：仙台市）
7年 9月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』6幅修復完了
7年11月 宮城県図書館調査専門会議 報告書提出
新宮城県図書館起工式（仙台市泉区紫山一丁目1番地）
7年12月 井上藤吉氏より「街頭紙芝居」4万点寄贈される
8年 9月 北海道・東北地区視聴覚ライブラリー研究協議会開催（仙台市）
8年10月 北日本地区公共図書館研究協議会総務部門開催（仙台市）
利用者端末設置稼働・生涯学習情報提供システム稼働
宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働
8年11月 文化財保護課へ博物資料13点移管
9年 6月 宮城県教育改革推進本部図書館利用調整部会開催
9年 7月 新図書館運営検討調整部会開催
9年 8月 宮城県図書館（榴ヶ岡）閉館記念行事（最終映画会，図書館探検）。閉館（31日）
9年 9月 新宮城県図書館竣工

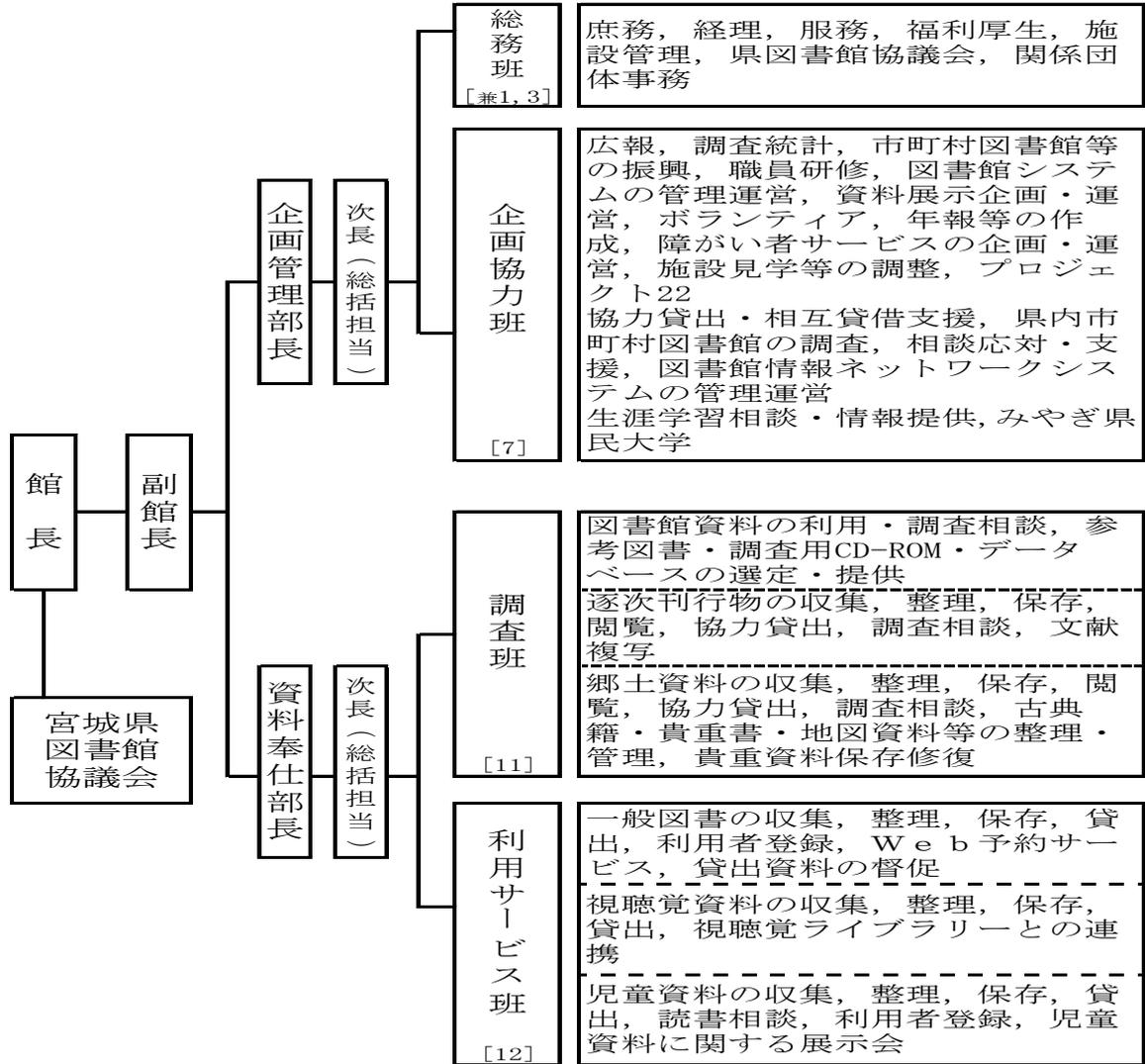
- 平成 9年10月 新館への移転開始
- 10年 1月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 4課 9係制を設置
- 10年 3月 新館オープン (21日)。開館記念事業 (コンサート・上映会・図書館探検)
- 10年11月 祝日開館施行始まる
- 11年 2月 宮城県図書館協議会より県内図書館の振興策について答申
- 11年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 4班制を設置
- 12年 4月 祝日開館本格実施
図書館作成ホームページ公開 (20日)
本館所蔵『仙台城下絵図』等13点が仙台市指定有形文化財に指定 (28日)
- 12年 6月 子ども読書年記念行事開催
- 13年 4月 インターネット蔵書検索システム公開 (1日)
館内利用者用蔵書検索システム更新 (1日)
- 13年 7月 宮城県図書館創立120周年記念特別展示「青柳文庫展」開催
- 14年 2月 古文書 (購入分, 約15,000点) を東北歴史博物館 (宮城県多賀城市) へ移管
- 14年 3月 図書館情報ネットワークシステム (館内業務用図書館システム, 市町村図書館ネットワークシステム) 更新
宮城県内図書館総合目録 (横断検索) システム公開 (1日)
音と映像のフロア機器更新
- 14年 6月 図書館ホームページ内でメールによるレファレンス受付開始 (8日)
- 14年11月 学都仙台オンライン目録 (東北大学附属図書館提供) に参加 (25日)
- 15年 1月 本館所蔵『禽譜』『観文禽譜』ほか 8資料が県指定文化財 (書籍) に指定 (31日)
- 15年 2月 特別展「きらめく叡智と美のしずく展—図書館新館五周年記念・宮城の至宝展—」開催 (2月11日～ 3月28日)
- 15年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 5班10担当制を設置
- 15年 5月 三陸南地震 (26日18時24分ごろ, M7.0, 最大震度 6弱)
地震による被害のため 6月15日まで臨時休館 (月曜日を除く休館日数17日)
- 15年 7月 本館所蔵『仙台領国絵図』『仙台城下絵図』等970資料が県指定文化財 (歴史資料, 書籍) に指定 (1日)
- 16年 2月 宮城県図書館協議会より県民の共有資源としての蔵書のあり方について答申
- 16年 4月 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業—みやぎ文化資源の保存・活用事業の推進—が平成30年までの15カ年計画の予定でスタート
- 16年 6月 本館所蔵『音点春秋左伝詳節句解』等朝鮮古刊本262資料が県指定文化財 (典籍) に指定 (29日)
- 17年 1月 本館所蔵貴重資料を「叡智の杜Web」と題してホームページで公開
- 17年 4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により 2部 4班制を設置
宮城県図書館資料収集方針を改正し, 施行
- 17年 7月 本館所蔵『環海異聞』『奥州名所図会』等 6件35点が県指定文化財 (典籍, 歴史資料) に指定。また『北極出地度里程測量』 3点が先に指定を受けた『伊能図』 5軸の附属資料として追加指定 (26日)
- 18年 3月 本館所蔵「紙芝居資料」 5,652点が国の登録有形文化財 (美術工芸品) に登録 (31日)
- 18年 4月 文化庁「平成18年度文化ボランティア推進モデル事業」委嘱 (10日)
- 18年 6月 第56回北日本図書館大会宮城大会・宮城県公共図書館等総合研修会開催 (29～30日)
- 18年11月 宮城県図書館創立125周年記念・東北大学附属図書館合同企画展「江戸の遊び」をせんだいメディアテークで開催 (4～14日)
文部科学省委嘱「平成18年度図書館地区別 (北日本) 研修」開催 (7～10日)
宮城県図書館創立125周年記念コンサート「J. S バッハ無伴奏チェロ組曲演奏会」開催 (19日)

- 平成19年 2月 本館所蔵『宮城県漁具図解及び略解』 1件 2点が県指定文化財（書籍，典籍）に指定。また『關算四伝書（写本）』 33点が先に指定を受けた 474点に追加指定（16日）
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしずく展～宮城県図書館所蔵貴重資料の世界～」開催（19日～ 3月25日）
- 19年 3月 宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録検索システム公開（1日）
- 19年 6月 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」委託（29日）
- 19年10月 本館所蔵『奥羽観蹟聞老志』『風土記御用書出』 2件86点が県指定文化財（書籍，典籍）に指定（26日～平成20年 3月15日）
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしずく展～秋田県立図書館所蔵貴重資料の世界～」開催（6日～12月 5日）
- 19年11月 館内整理日（第一金曜日）開館実施（2日）
- 20年 2月 第 3次宮城県図書館情報ネットワークシステム更改，自動貸出機導入
音と映像のフロアでのブース視聴廃止
- 20年 3月 『みやぎの叡智－宮城図書館貴重書の世界－』（郷土関係貴重書の図版解説目録）発行（1日）
宮城県図書館振興基本計画 2008-2012年 策定・公開（31日）
- 20年 6月 宮城・岩手内陸地震（14日8時43分ごろ，M7.2，最大震度 6強）
- 20年 7月 平成20年度 北日本図書館連盟・経営部門研究協議会開催（25日）
- 20年10月 東北大学附属図書館／宮城県図書館合同企画展「はっぴいさんぼうー和算の世界へようこそ！ー」開催（25日～11月24日）
- 21年 3月 宮城県図書館振興基本計画に基づく行動計画（2008－2012）アクションプラン策定
宮城県図書館資料収集方針・同資料選定基準改訂
- 21年 4月 レファレンス事例集のWeb公開開始
- 22年 3月 Web予約サービス開始
- 22年10月 「国民読書年記念読み聞かせ講座」開催
- 23年 1月 特別整理期間を14日から7日に短縮
- 23年 2月 貴重資料の一部1,770点を東北歴史博物館へ移管
- 23年 3月 東日本大震災（11日14時46分 M9.0 最大震度7）
地震による被害のため5月12日まで臨時休館（月曜日を除く休館日数53日）
- 23年 3月 宮城県図書館協会を解散し，宮城県公立図書館等連絡会議（22年10月発足）に活動を継承

2 施設概要

敷地面積	55,278.74m ²			
構造	SRC 地上4階, 地下1階			
建築面積	6,358.12m ²			
延床面積	18,100.63m ²			
収蔵能力	1,500,000冊			
開架・閲覧室	面積	: 3,512.58m ²		
	開架冊数	: 300,000冊		
	閲覧席	: 393席		
	利用者用検索端末	蔵書検索用	24台	
		インターネット用	7台	
	デジタル情報閲覧端末	CD/DVD-ROM・オンラインDB用	12台	
		CDデータ用	4台	
	自動貸出返却装置	3台		
	その他	: 雑誌架, 新聞差し, ベンチ		
音と映像のフロア	面積	: 523.10m ²		
	開架冊数	: ビデオ6,000本, CD5,000枚, DVD1,500枚, 楽譜5,000冊		
子ども図書室	面積	: 452.25m ²		
	閲覧席	: 25席		
	その他	: 絵本架, 紙芝居架, 児童書架, 新着図書架, 児童雑誌・新聞架		
	開架冊数	: 20,000冊		
閉架書庫	面積	: 3,134.39m ²		
	3階書庫	: 500,000冊		
	4階書庫	: 700,000冊		
駐車場(敷地内)	面積	: 6,700m ²	駐車台数	: 300台
駐車場(借地)	面積	: 約5,500m ²	駐車台数	: 120台

3 組織・事務分掌 (平成23年 4月 1日現在, []内は職員数)



○職員数

() : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主幹	主任 主査	主査	主事	計	嘱託	臨時 職員	計
人数	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (1)	2 (1)	3 (1)	8 (2)	18 (10)	39 (15)	18 (18)	23 (7)	41 (25)

Ⅱ 宮城県図書館振興基本計画

宮城県図書館振興基本計画

1 理念

情報の拠点としての県図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様のより充実した生涯学習を支援します。

なお、この計画は2008年から2012年の5ヵ年で進めるものです。

2 基本方針

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
- (2) 情報の拠点としての図書館
- (3) 次世代を育成する図書館

3 施策と事業計画

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
 - ① 資料の収集・整備
 - a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備
 - ② 生涯学習情報の提供
 - a 学習機会の提供
 - ③ 利用しやすい図書館への工夫
 - a 情報発信の促進
 - b 館内表示の工夫
- (2) 情報の拠点としての図書館
 - ① 県内市町村図書館等への支援・連携・協働
 - a 図書館資料の協力貸出の推進
 - b 図書館間の相互協力体制の充実
 - c 図書館の整備・運営に関する助言
 - ② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実
 - a 図書館情報ネットワークシステムの整備
 - b 障がい者サービスの充実
 - ③ 調査・研究に役立つ機能の充実
 - a 調査・研究に役立つ資料の収集
 - b レファレンス事例の作成・公開
- (3) 次世代を育成する図書館
 - ① 郷土関係資料の維持・充実
 - a 宮城に関する資料の収集と整備
 - b 宮城県の行政資料の収集と行政課題に関する情報提供
 - ② 子どもの読書環境の充実
 - a 読書環境の整備充実
 - b 読書活動の理解の促進
 - ③ 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進
 - a 図書館の知的財産の活用
 - b 図書館の人的資源の活用

Ⅲ 平成 22 年度概況

1 概況

平成22年度は、『宮城県図書館振興基本計画』及びその具体的な方向性を示した行動計画（アクションプラン）に基づき、情報の拠点としての図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様により充実した生涯学習を支援するため、計画に掲げる各種の事業を展開し利用者サービスの向上に努めました。

平成22年が国民読書年に当たることから、記念行事として読み聞かせ講座を3回にわたり開催し、3階コーナー展示においても「国民読書年にちなんだ展示」を行いました。

自宅のパソコンや携帯電話から蔵書の検索をし、貸出中の資料にそのまま予約ができる予約サービスを前年度から開始しましたが、サービスに登録した人数は2,100人を超えました。

また、調査相談事例（レファレンス事例）のホームページでの公開を隔週2件ずつ更新しました。同時に、国立国会図書館主催「レファレンス協同データベース」事業へのレファレンス事例登録も積極的に進め、計207件を公開し、図書館での資料の調べ方について紹介しています。

県民の生涯学習の一助とするため、館長の地方自治に関する研究に基づいた特別講座と所蔵資料の紹介を兼ねた職員の発表の場である県民大学を開催したところ、多くの方々の参加をいただき、新たな発見につながる貴重な学習としてご好評をいただきました。

展示室においては、国民読書年記念特別展「時代（とき）をよむ～雑誌と歩んだ130年～」を開催し、明治から平成まで130年間に出版された雑誌およそ200点を展示して、時代の動きや人々の暮らしに雑誌が果たしてきた役割や出版文化について紹介しました。また、「宮城に眠る玉手箱～のぞいてみよう 児童資料の世界～」と題し、ちりめん本や大正期からの県内外の児童雑誌、紙芝居など本館に所蔵している貴重な児童資料を展示し、その歴史や人物について紹介しました。

このほか、国立国会図書館のデジタルアーカイブポータルから、統合検索により本館のデジタル画像を閲覧できるようにしたことで、全国からのアクセスが容易にできるようになりました。

上映会では、前年度に引き続いて音声、字幕が付加された資料を用いたバリアフリー上映会を3回開催しました。

「貴重資料保存修復事業」では、「陸奥国仙台領際絵図」及び「福島領際絵図 仙台領境」修復を行いました。また、緊急雇用創出事業を活用して、本館刊行の冊子目録『伊達文庫目録』及び『仙台人名大辞典』について電子情報化を行いました。また、佐々文庫（佐々久旧蔵資料）の和漢書を整理し、目録を作成しました。

次世代育成を目的とした事業としては、複製資料の学校等への貸出、子どもの本の小学校への移動展示会等を通して読書環境づくりや読書活動の普及に努めました。

所蔵資料の総点検を行う特別整理期間については、利用者の利便性を考慮し、作業行程の見直しを図り前年度に比べて期間を7日短縮しました。期間短縮により利用日数の増加を図ろうとしましたが、想定外の及ばない規模の東日本大震災の発生により、延べ開館日数は減少することとなりました。

図書館の利用状況は、個人貸出冊数が816,159冊で、貸出は前年度実績を下回りました。レファレンスは46,732件で、前年度実績を約13,000件上回りました。

2 平成22年度予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (21年度当初)	概 要
管 理 経 費	212,570 (228,309)	本館の運営維持費（職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	454 (439)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	3,553 (3,884)	機器使用料, 消耗品等に要する経費
市 町 村 連 携 費	53,545 (53,252)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	746 (747)	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	42,711 (42,767)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,031 (2,257)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	315,610 (331,655)	

3 実施事業の概要

(1) 生涯学習に役立つ図書館

① 資料の収集・整備

a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備

資料の整備状況

〔一般図書資料〕（外国語書籍を含む）

購入6,901冊，寄贈1,060冊，その他153冊の受入・整理を行ったほか，特別整理期間には，蔵書点検や本棚の整理，清掃等を行い，さらに通常業務において計画的に開架書架から閉架書架への移動作業を行うなどして，所蔵本で一杯だった開架書庫の閲覧利用を改善しました。

また，利用者が資料を選びやすいように，書架両端の分類等の表示を更新し，複写機の利用方法表示などを改善しました。

〔視聴覚資料〕

購入資料点数は372点で，内訳はDVD（270点），カセットテープ（2点），CD（87点），楽譜（13点）を，県民の学習ニーズ，教育の今日的課題，保存の必要性（郷土資料を含む）の視点から収集，受入・整理を行いました。

また，利用者が資料を選びやすいように，配架を工夫しました。

購入資料，寄贈資料，その他を含め，全体で476点の整理を行いました。

録音図書，字幕・音声解説ビデオ資料等については，計画的な整備に努めました。

〔児童資料〕（紙芝居などを含む）

購入4,705冊，寄贈183冊，その他4,618冊の図書を整理しました。資料については，見計らい選書を中心に児童図書及び研究資料を精選して収集しました。

開架書架を増設し，今まで閉架書庫にあった児童資料研究室資料の一部を移動することにより，より多くの資料を直接手に取り利用できるように工夫しました。

〔逐次刊行物〕

雑誌，年鑑類，行政資料，新聞は合わせて購入879タイトル，寄贈2,397タイトル，計3,276タイトルを受け入れ，整理しました。雑誌のうち『スイングジャーナル』『月刊地球環境』など5誌が平成22年度途中で廃刊となりました。

県内市町村図書館からは，移管雑誌を226タイトル，2,129冊を受け入れ，整理しました。雑誌の特集情報を検索ツールとして整備するために，本館業務システムへの登録作業を行い，22年度分登録件数は22,046件で，全登録総数は71,402件となりました。

また，新聞雑誌室の行政資料全件について目録再整備を行い，目録データ件数は2,903件となりました（139件増）。

〔郷土資料〕（地図・電子図書・マイクロフィルムを含む）

郷土関係資料は，購入508点，寄贈1,131点，計1,639点を受け入れ，整理しました。重点テーマとしては，鳴子温泉観光協会などが発行した地元学関係資料や郷土食文化関係資料などを収集しました。

本地域の地形図（2万5千分の1／国土地理院発行）34枚を購入し，整理しました。

古典籍の利用者用代替資料（マイクロフィルム）の劣化に対応するため，再整備事業を実施しました。平成22年度は『奥州名所図会』『道中記』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム41本を複製し，7本にまとめて収録しました。

② 生涯学習情報の提供

a 学習機会の提供

・ボランティア活動の機会の提供

図書館でのボランティア活動の機会を提供するために，ボランティアの募集を行いました。

新規登録は69人で，ボランティア登録者は延べ107人となりました。養成講座（21年度末に実施済み。参加者：70人）のほか，活動内容ごとの専門講座として，一般書架整理（登録者28人），

児童書架整理（同9人），視聴覚書架整理（同11人），読み聞かせ（同21人），音訳（同30人），図書館案内（同8人）を実施しました（一部21年度末に実施済み）。また，次年度継続希望者を対象に全体研修会を実施しました。

図書館ボランティア研修

1) 養成講座〈本館ボランティア 平成22年度新規登録者（42人）を対象に実施〉

ア 養成講座

期日：平成22年3月11日（木）・13日（土）（追加登録者向け 5月13日（木）・15日（土））

内容：宮城県図書館の概要，ボランティアについて，各活動担当者の紹介

（参加者：70人，うち追加登録参加者29人）

イ 業務体験

業務名	期 日
書架整理（一般図書）	平成22年3月18日（木），20日（土） 5月15日（土）
書架整理（児童図書）	平成22年3月19日（木），20日（土） 5月21日（金）
書架整理（視聴覚）	平成22年3月18日（木），19日（金） 5月19日（水），20日（木）
音訳	平成22年3月19日（木），20日（土） 5月19日（水），22日（土）
図書館案内	平成22年3月20日（土），24日（水） 5月22日（土），25日（火）

ウ 専門講座（活動分野ごとに，ボランティア登録を行い，専門講座を実施しました。ただし，複数の専門講座を受講できることとしています。）

書架整理一般（全2回）〈平成22年度新規登録者 15人〉

回	期日	内容	参加者
1	22年 3月11日（木）	ラベル（請求記号）・配架について	8人
2	22年 3月13日（土）	ラベル（請求記号）・配架について	5人

書架整理児童（全2回）〈平成22年度新規登録者 5人〉

回	期日	内容	参加者
1	22年 3月11日（木）	ラベル（請求記号）・配架について	3人
2	22年 3月13日（土）	ラベル（請求記号）・配架について	1人

書架整理視聴覚（全2回）〈平成22年度新規登録者 5人〉

回	期日	内容	参加者
1	22年 3月11日（木）	活動内容について・フロア配架区分について・配架練習 ①	2人
2	22年 3月13日（土）	活動内容について・フロア配架区分について・配架練習 ②	3人

読み聞かせ（平成22年度新規登録者 5人）

回	期日	内容	参加者
1	22年 2月26日（金）	おはなし会について，選本について	5人

音訳（全7回）〈平成22年度新規登録者 5人追加登録者 4人 経験年数 2年未満の継続者 8人〉

回	期日	講座 I 内容	参加者
1	22年 4月15日(木)	障がい者サービスについて、読み調べについて	8人
2	22年 4月22日(木)	読み調べについて	8人
3	22年 5月12日(水)	読みのきまり、図表・写真などの読み方	8人
4	22年 5月13日(木)	読みの基本	14人
5	22年 5月20日(木)	録音機器の操作	9人
6	22年 7月1日(木)	報道記事の読み方	14人
7	22年 9月9日(木)	文芸作品の読み方	11人

図書館案内（全3回）〈平成22年度新規登録者 1人を含む8人を対象に実施〉

回	期日	内容	参加者
1	22年 6月5日(土) 6月10日(木)	施設見学（どこでどのように案内を行えばよいかについて） 対象：希望者	7人
2	22年 7月17日(土) 7月23日(金)	特別展「時代（とき）をよむ～雑誌と歩んだ130年」展（見どころとお勧めポイントについて） 対象者：希望者	8人
3	23年 1月15日(土) 1月18日(火)	特別展「宮城に眠る玉手箱～のぞいてみよう児童資料の世界～（見どころとお勧めポイントについて） 対象者：希望者	8人

- 2) 全体研修会（本館ボランティア登録者107人(新規6追加を含む60人，継続47人)を対象）
期日：平成22年12月16日(木)
内容：各活動報告・講義「著作権について」（参加者：26人）

・上映会

年間を通し定期的に44回実施し、1,189人の入場者がありました。これは、昨年度と同様の高い数値となっています。年度途中にアンケートを実施し、その結果も踏まえ、年度後半の上映作品を選定し実施しました。アンケートでは既上映作品の再上映や図書館では所蔵していない作品の上映希望などもあり、利用者の関心の高さがうかがえました。

バリアフリー映画の上映も行い、障がい者サービスの向上を目指しました。さらに次年度につながる成果を得られました。

基本的に毎月第2・第4土曜日と日曜日に実施しました。さらに平日（金曜日）に6回実施したところ作品の内容によっては、休日と変わらない利用者が訪れました。

また、3階一般図書と2階児童図書室で、上映会関連本展示コーナーを設置しました。

・「プロジェクト22」—宮城県図書館活用推進事業—

平成16年度にスタートしたプロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。

22年度は3つのグループで、企画した計画を実施しました。

	テーマ	内 容
A	災害発生時の「i-BCP」を基にした図書館システム対応マニュアルの作成と訓練	近い将来、高い確率で発生が予想される宮城県沖地震に備え、災害発生時の対応マニュアルを作成し、図書館システムの速やかな復旧と応急処置を図ることで利用者への影響を最小限に食い止めるため、情報政策課の指示で作成した「i-BCP」(情報システム版災害発生時の業務継続計画)を基に、より実態に即したマニュアルを作成し、職員がスムーズに対応できるよう訓練を行った。
B	未整理分街頭紙芝居・印刷紙芝居整理活用事業	県内公共図書館から寄贈されていた紙芝居の受入を行い、配架整理を行った。また、タイトル不明の街頭紙芝居の書誌を作成し、目録作成・整理作業を行った。
C	県内市町村図書館だより等の整理方針策定事業	県内市町村図書館で発行する図書館だよりの寄贈ルートを整備し、資料として利用に供することができるよう受入・整理を進めるための方針を策定した。

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となりましたが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

・特別事業「館長講座」

「ヨーロッパにみる地方分権」と題して3回にわたり講演しました。

館長自ら、訪問し調査した結果をもとに国毎の特色、歴史的特殊事情、自治に関する組織体制など、社会の成熟期にさしかかった我が国の自治の今後のあり方を考える際の参考事例を取り上げて考察し、紹介しました。

回	日時	内 容	参加人数
1	7月31日(土) (13:30~15:00)	「ヨーロッパにみる地方分権①スウェーデン、デンマーク」 第1回目は、北欧の2つの王国スウェーデンとデンマークを取り上げた。	28人
2	8月28日(土) (13:30~15:00)	「ヨーロッパにみる地方分権②ドイツ、フランス」 第2回目は、世界最初の民主国家ドイツと“合理化された議員内閣制の国フランスを取り上げた。	31人
3	9月25日(土) (13:30~15:00)	「ヨーロッパにみる地方分権③イギリス」 第3回目は、二大政党制の草分けイギリスを取り上げた。	30人

・「みやぎ県民大学開放講座」

平成22年度の「みやぎ県民大学開放講座」(全4講座)は本館職員(個人とグループ)が担当し実施しました。(職員個人6人(うち4人はグループ)と顧問1人による自主企画事業)

回	日時	内 容	参加人数
1	11月6日(土)	「工夫するとおもしろい。分析すると何かが見える。～算数と数学の違いと九九の不思議」 久光 洋一 工夫すると数学が面白くなる。分析すると見えてくるものがある。九九の不思議を検証し、数学の面白さを紹介した。	40人
2	11月13日(土)	「書の私的鑑賞と創作への手がかり」 阿部 頼人 芸術作品を鑑賞し、目を養うことは書を志す者にとっては欠かすことのできない要素の一つ。ここでは様々なジャンルの書に触れ、自分なりの鑑賞法や自身の創作活動への試みを紹介した。	39人

3	11月20日(土)	「時代(とき)をよむ〜雑誌と歩んだ130年」 只野 雅美 渡邊 教子 梶本 哲弥 柴田 香織 明治から平成までの約130年間に出版された雑誌をもとに、雑誌の出版文化、時代の動き、人々の暮らしの中で雑誌が果たしてきた役割などを読み解いて紹介した。	33人
4	11月27日(土)	「鎮守の杜と日本人の心の風景」 宮城県図書館顧問 伊達 宗弘 日本人は長い間、1年間の生活を「ハレ」「ケ」の使い分けによって営んできました。その中心の一つ鎮守の杜の歴史を巡りながら日本人の心の原風景に迫った。	35人

③ 利用しやすい図書館への工夫

a 情報発信の推進

・インターネットによる資料の予約

居住地域によらず県民一律のサービス拡充のため、特に予約サービス部門において改善を図るために、インターネットに接続されたパソコン、携帯端末、館内蔵書検索端末から貸出中の図書資料等への予約申込ができる「Web予約サービス」を22年3月から導入し、これにより従来の固定電話や携帯電話以外の連絡方法としてメールも利用可能となり、利用者にとってもより利用しやすくなりました。

・新着図書案内

新着図書に付随する帯を文学・ノンフィクション等に分け掲示し紹介しました。

新たに受け入れた本の目録(「新刊図書等のご案内」)を作成し紹介するとともに、ホームページにも掲載しました。(年間40回)

号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った児童図書を紹介しました。同じくホームページにも掲載しました。

・「私の1冊」展示

毎月、職員による本の紹介「私の一冊」(年間11回)をしました。利用者の利便性の向上、さらには職員の資料に対する一層の意識の向上につながりました。

期 間	テーマ
平成22年 4月 1日～ 5月 5日	「作家の猫」
平成22年 5月 6日～ 6月 5日	「人生は、楽しい謎に満ちている。」
平成22年 6月 8日～ 7月 4日	「暁の密使」他
平成22年 7月 6日～ 8月 1日	「写真を撮ろう」
平成22年 8月 4日～ 9月 7日	「ささらさや」他
平成22年 9月 8日～10月 5日	「初めて自分で買った本」
平成22年10月 6日～11月 2日	「物語ではない村上春樹の世界」
平成22年11月 3日～12月 7日	「深夜特急 第1～第3便」
平成22年12月 8日～12月18日	「馬上少年過ぐ」
平成23年 1月 5日～ 1月27日	「空を泳ぐキカイ」
平成23年 2月 8日～ 3月17日	「本木昌造伝」

特設コーナーの設置

テーマ別コーナーを設置し、時の話題や季節などに合わせた展示を実施しました。

また、平成22年が「国民読書年」であることにちなみ、嘱託職員により月ごとにテーマを設定した展示を行いました。

3階 一般図書コーナー

期 間	テーマ ・ 紹介資料
平成22年 6月 2日 ～ 6月30日	「6月は食育月間です」 国で定めた「食育月間」にちなみ関連本を展示したもの。 (東北農政局依頼による展示)
平成22年 7月 1日 ～ 8月31日	「石川啄木」 「一握の砂」出版100年に当たるため、啄木の関連本を展示したもの。
平成22年 9月 1日 ～10月14日	「マーラー、ショパン、シューマン」 マーラー生誕150周年、ショパン生誕200年、シューマン生誕200年という記念の年に当たるため、3人の著名な音楽家の関連本を展示したもの。
平成22年10月15日 ～12月15日	「柳田国男」 「遠野物語」(柳田国男/著)の出版100周年であることから、柳田国男の著作及び関連本を展示したもの。
平成22年10月15日 ～12月15日	「名著を出版当時の装幀で読む―復刻版・初版本の世界―」 通常は閉架書庫に所蔵する資料のうち、視覚的に興味をそそられる日本の近代名著の初版本復刻版を展示したもの。 (「国民読書年」にちなんだ展示)
平成22年12月17日 ～平成23年 2月27日	「惜別」 2010年に他界した北森 鴻, J. D. サリンジャー, 立松和平, 井上ひさし, つかこうへい, 佐野 洋子6名の著作及び関連本を展示したもの。
平成23年 3月 3日 ～ 5月31日	「ことば」 出会いの季節であり、周囲の人々とよりよい関係を築くために適切な言葉使いが必要。そこで、「ことばの使い方」及び「語源」に関する本を展示したもの。

嘱託職員による「国民読書年にちなんだ展示」

展 示 期 間	展 示 テ ー マ
平成22年 4月14日 ～ 5月 5日	「春を楽しむ」
平成22年 5月19日 ～ 6月 2日	「脳活」
平成22年 6月11日 ～ 7月11日	「ワールドカップサッカー」
平成22年 7月23日 ～ 8月20日	「怖い話・不思議な話」
平成22年 8月27日 ～ 9月17日	「職業探偵の探偵小説」
平成22年 9月24日 ～10月15日	「読書の秋」
平成22年10月22日 ～11月12日	「ノーベル賞」
平成22年 11月19日 ～12月 3日	「NHK大河ドラマ」
平成22年 12月17日 ～平成23年1月21日	「うさぎ」

平成23年 2月17日 ～3月17日	「世界遺産」
-----------------------	--------

2階子ども図書室特集コーナー

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
4	がっこうだいすき	5	ともだちいっぱい	6	よるとつき
7	なつやすみ!	8	おばけ	9	あき
10	ネコ	11	ゆき	12	クリスマス・お正月
1	おにとまめ	2	ひなまつり・春	3	はる

1階 視聴覚資料展示コーナー

期 間	テーマ
平成22年 4月 1日 ～ 8月31日	クラシックを気軽に楽しむために
平成22年 9月 1日 ～ 10月20日	3階連動企画 ショパン、マーラー、シューマン
平成22年10月21日 ～ 12月28日	聞き比べてみよう!特集 同じ作品名の曲 ～セレナーデ編
平成23年 1月 5日 ～ 4月30日	ピアノの魔術師 フランツ・リスト

・県内施設への視聴覚資料の提供

学校や社会教育施設への視聴覚資料の提供については、受け入れ側との調整（学校関係でいえば授業内容等の関係で視聴覚資料を児童・生徒に見せる時間が取れない等）の問題で、利用促進ができませんでした。

・施設見学の実施

学校や市民グループなどを対象とした施設見学は、それぞれの団体から申し込みを受け、保育所1、小学校 7（2回来館1校）、高等学校 7、支援学校 3、大学 4、一般12（2回来館1団体）団体の延べ34団体に実施しました。

平成22年度は、県内は迫桜高等学校の教員と図書委員の生徒計22人など延べ28団体879人、県外からは山形県東根市東郷公民館など6団体229人、合わせて延べ34団体1,108人が閉架書庫などを見学し、本館資料と機能についての理解を深めました。

・広報活動の推進

宮城県図書館だより『ことばのうみ』は、第34号から第36号まで、3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国都道府県図書館等に配布しました。

ホームページについては、逐次情報の更新を行ったほかメールマガジンを毎月発行しました。

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（140号～151号）しました。号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。

エフエムいずみ放送の番組「Lady, Go!」の毎月第2木曜日「宮城県図書館コーナー」に職員が出演し、施設の利用案内、主催事業等について広報しました。また、テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施しました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作し、目の不自由な利用者に貸し出しました。

b 館内表示の工夫

3階一般開架書棚の南側にも配架本の表示を更新し、南北両側の通路から配架本がより分かりやすくしました。

また、複写機の利用方法表示などを改善しました。

2階児童資料研究室の配架方法を見直し、効率よく出納に対応できるよう整理しました。

1階視聴覚フロアの照明角度を変更しました。

c その他

館内エントランスに広報用掲示板を設置し、情報提供するなど環境改善を行いました。

(2) 情報の拠点としての図書館

① 市町村図書館等への支援・連携・協働

a 図書館資料の協力貸出の推進

・市町村図書館・公民館図書室等への支援

県民の求める資料を、住民に身近な市町村図書館等を通じて提供することにしておりますが市町村図書館等への協力貸出資料は22,174冊で、前年度より少し減少しました。3月11日の震災により以降年度末までの協力貸出ができなくなったためですが、ほぼ県下全域のかたに利用されています。

b 図書館間の相互協力体制の充実

・資料の長期保存・分担収集等の検討

資料の長期保存は、限りある収蔵スペースに増加をたどる一方の図書資料をいかに長期にわたり収蔵していくかという図書館共通の課題です。このことについて、今後、公立図書館等連絡会議で協議していくべき課題であるとの共通認識が得られました。

分担収集については、各館のさまざまな事情もありますので、次のステップとして時間をかけて検討協議していきたいと考えております。

・市町村図書館との情報共有

市町村図書館等との連携を強化するため、公共図書館連絡会議及び公立図書館等連絡会議を各1回（6月と11月）開催しました。

会議では、相互貸借等に関する再確認、調整及び新規開館した柴田町図書館の報告、図書館協会解散後の相互貸借、利用者のうちマナー上問題となる例についての情報交換、宮城県図書館情報ネットワークシステム（MY-NE T）活用方法等についての協議も行いました。会議のほか、MY-NE Tの掲示板を活用し適時の情報交換を行いました。

協力貸出を迅速に進めるため、MY-NE Tへの加入を推進しておりましたが、柴田町図書館が加わり、参加館は42館（図書館31+公民館11）となりました。各館でのシステム上の改変や設定変更等に迅速な対応ができたことにより順調な運営ができました。

c 図書館の整備・運営に関する助言

・研修会の開催

市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、勤続年数に応じた公共図書館等職員研修会Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び公民館図書室担当職員研修会を開催しました。

公共図書館等初任者研修会（前期）

期日：平成22年 5月14日（金）（参加者：67人）

講義1：「図書館はこんなところ」	講師：宮城県図書館 柴田 香織
講義2：「著作権について」	講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎、増子 敦子
講義3・演習：「分類のしくみ」	講師：宮城県図書館 佐尾 博基

公民館図書室担当職員研修

期日：平成22年 7月2日（金）（参加者：14人）

講義1：「レファレンス・サービスについて」	講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎
講義2：「県図書館の利用について」	講師：宮城県図書館 熊谷 慎一郎
講義3・演習：「修理について」	講師：岩沼市図書館 佐藤 あづみ

公共図書館等初任者研修会（後期）

期日：平成22年 8月27日（金）（参加者：43人）

講義・演習1：「児童サービスとは何か」 講師：宮城県図書館 岡本 真澄
講義・演習2：「レファレンスサービスについて」 講師：宮城県図書館 梶本 哲弥

公共図書館等職員研修会Ⅰ

期日：平成22年10月22日(金) (参加者：23人)

講義1：「著作権制度の概要」

講義2：「著作権制度の各論」

講師：放送大学ICT活用・遠隔教育センター教授 尾崎 史郎氏

公共図書館等職員研修会Ⅱ

期日：平成22年11月5日(金) (参加者：20人)

講義1：「障がい者サービスの総論」

講義2：「具体的サービスの紹介・改正著作権法の概要」

演習：「対面朗読」

講師：埼玉県立久喜図書館 主任司書 佐藤 聖一氏

公共図書館等職員研修会Ⅲ

期日：平成22年12月3日(金) (参加者：14人)

講義：「レファレンス・サービス」

講師：青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 教授 小田 光宏

・人材の育成

本館職員が、県内市町村図書館等職員に対する研修会の講師を担当できるよう、日頃から司書職員を中心にOJT研修と自己研鑽を積み資質の向上に努めながら、平成22年度も研修の一部の講師を担当しました。

・巡回相談の実施

市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間2回の巡回をしました。4月から5月にかけて第1回目の巡回相談を実施し、各館の職員体制、重点事業などの最新情報を収集し、9月から10月にかけては市町村図書館の地域内で刊行された資料の取扱いや図書館協会解散に伴う各種調整などに関する情報交換を行いました。

② いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実

a 図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)の整備

・宮城県内図書館総合目録(横断検索)

宮城県内図書館総合目録(横断検索)については、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、レファレンスサービスや図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しているほか、一般の利用者にも公開し、資料検索の利便性向上に寄与しています。

市町村で導入する図書館システムは多様なことから、常にシステム更新に関する情報収集を行い、速やかに参加館のシステム更新に対応して、安定運用を図ることができました。

また、総合目録へは県内28館が参加しておりますが、未参加の公共図書館へ参加の働きかけを行った結果、平成22年度に新たに3館が参加することになりました。これにより総合目録システムはさらに有用なものとなります。

このほか、県内の公共図書館が当該年度に受け入れることとした新聞・雑誌購入リストを作成・配布して、各館でレファレンスを実施する際に有用な情報として活用されています。

このように総合目録システム、新聞・雑誌購入リストとも、当館のみならず県内の公共図書館・公民館図書室で活用され、図書館間の資料の相互貸借業務の効率化に寄与しています。

・次期システムの検討

現行の図書館情報ネットワークシステムは、平成19年度に更新し5か年の運用を予定しています。平成24年度に予定している次期システムの更新に向けた検討を、館全体で取り組むため体制の整備を図りました。

b 障がい者サービスの充実

・郵送による貸出・返却サービス

郵送による貸出・返却サービスは、ホームページ等での広報や新規登録時の呼びかけを行い、新たに12人を加え現在543人の登録数となっています。登録者への貸出・返却業務は迅速に処理することができました。

図書館の郵送貸出は、年間386件1,240冊、点字雑誌の貸出利用は45件112冊、朗読テープ、ビデオテープ、CD及びDVD等の郵送貸出数は474件1,645点でした。

・録音図書、音声ガイド・手話付きDVD資料等の目録整備

録音図書、音声ガイド・手話付きDVD資料等整備については、計画的な整備に努めました。利用促進については、バリアフリー映画の上映会も実施し、PRに努めました。

・大活字本の収集

大活字本については、積極的に購入するように努め、22年度は127冊購入しました。

・録音図書、字幕・手話付きビデオ資料等の目録整備

録音図書、字幕・音声解説付きビデオ資料等整備については、計画的な整備に努めました。利用促進については、バリアフリー映画の上映を初めて行いPRに努めました。

・障がい者サービス担当者の育成

担当班内での職場研修（OJT）や市町村職員対象に実施した研修会（「障がい者サービス」及び「著作権」）への参加などにより、担当者の職務能力の向上に努めました。

・音訳サービス

新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳を延べ204件（前年度比22件減）行いました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作し、目の不自由な利用者に対して貸し出しました。

雑誌の記事を選んで音訳ボランティアに依頼して制作している「声の情報誌」を目の不自由な方に対して貸し出しました。

そのほか、プライベートサービスとして目の不自由な利用者に対して音訳テープの作成と電話音訳を実施しました。

③ 調査・研究に役立つ機能の充実

a 調査・研究に役立つ資料の収集

調査・研究に役立つ資料の収集

利用者ニーズの高い『近代日本教育関係法令体系』『医学症候群事典』等（7タイトル）を宮城県教職員互助会から寄贈を受けて整備しました。

課題解決に役立つ県内の施設の紹介

県民が調査・研究に利用できる全国公共図書館や大学図書館など類縁機関の「資料検索ツール」を本館ホームページのトップページで紹介しています。各類縁機関へのリンクを設定し、利用者自身が検索を行い、資料調査、所蔵館情報などにアクセスできる環境を整備しています。

b レファレンス事例の作成・公開

「宮城県図書館におけるレファレンス事例公開事業実施計画」（平成21年3月策定）に基づき、レファレンス事例について、平成21年4月から本館ホームページ及び国立国会図書館「レファレンス協同データベース」での一般公開を開始しました。平成22年度は本館ホームページで隔週2件ずつ更新し計44件を公開しました。また、10月からはメールマガジンでもレファレンス事例の配信を行いました。

国立国会図書館には計207件を追加登録、公開しました。これにより本館の公開事例の累計は496件となり、被参照件数58,648件は「レファレンス協同データベース」事業参加館（537館）において第17位の実績となりました。国立国会図書館から本館の同事業への貢献に対する御礼状を頂きました。

公開事例の編集にあたっては「レファレンス事例編集ガイドライン（第1版）」に基づいて、職

員研修を継続的に実施しました。

(3) 次世代を育成する図書館

① 郷土関係資料の維持・充実

a 宮城に関する資料の収集と整備

・宮城に関する資料の収集

郷土関係資料は主題（テーマ）による収集を計画的に進め、平成22年度は1,395点を受け入れ、利用者に提供しました。重点テーマとしては鳴子温泉観光協会などが発行した地元学関係資料や郷土食文化関係資料などを収集に努めました。

・郷土関係論文データベースの充実

「郷土関係論文目録データベース」に目録情報を登録し、ホームページで公開しています。平成22年度は1,950件の目録データを登録し、総データ数3万件を超えました。

また、平成22年度緊急雇用創出事業を活用し、『仙臺人名大辞書』（仙臺人名大辞書刊行会 1933年刊）と『伊達文庫目録』（宮城県図書館 1987年刊）の電子情報化を行いました。あわせて本館第30代館長・佐々久氏（1909～1989年／郷土史家）旧蔵の和漢書を整理し、『佐々文庫和漢書目録』を作成しました。

b 宮城県の行政資料収集と行政課題に関する情報提供

・行政資料の収集

宮城県に関する行政資料110タイトルを収集し、総タイトル数1,995を整備しています。特に、県内市町村発行の地震災害関係資料や防災関係資料の収集に努めました。また、宮城県経済商工観光部発行『働く女性のハンドブック』『中小企業融資制度のごあんない』等の資料も提供しました。

・県職員向けの情報発信

県庁各担当からの問い合わせには調査を行い、資料提供を行いました。東日本大震災（3月11日発生）に際しては、関係法令や施策に関する専門雑誌などを貸し出しました。

・宮城に関する資料の収集

② 子どもの読書環境の充実

a 読書環境の整備充実

・新刊児童図書の紹介

第41回子どもの本展示会を4月17日から29日まで開催し、延べ786人の入場者がありました。

開催期間	会場	入場者数
4月17日(土)～4月29日(木)	ホール養賢堂	延べ 786人

・子どもの本移動展示会（県内市町村図書館向け）の開催

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

県内公共図書館・公民館図書室への移動展示会を行い、18会場で延べ3,860人の入場者がありました。

・子どもの本移動展示会（県内小学校向け）の開催

上記と同じ試みです。

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催し、入場者は11,979人ありました。多くの学校から次年度以降も開催を望む声が寄せられています。

・児童資料の充実

児童資料については、新刊図書を中心に発達段階や各分野にわたり収集しました。

冊数や心に残る本を記録する「ブックツリーカード」（読書記録カード）を配布しました。

利用者から「おすすめの本1冊」を募集、子ども図書室に掲示紹介をしました。

・児童図書サービス担当者の育成

毎月1回、職員による「読み聞かせ会」を実施し、担当職員の技能向上に努めました。

b 読書活動の理解の促進

・「国民読書年記念読み聞かせ講座」の実施

国民読書年を記念して、県内市町村図書館や公民館で読み聞かせを行っている職員、またはこれから始めようとしている職員と、乳幼児検診などの際に読み聞かせを行っている行政職員を対象に読み聞かせ講座を実施しました。

講師には、本館読み聞かせボランティアの鶴飼信好氏を迎え、全3回で延べ88名の市町村職員などが参加しました。現役のボランティアが講師を務めた講座は、実践に即した的確なアドバイスがあり、とても有意義なものでした。

・各種事業の実施

おはなし会・紙芝居上演会

「おはなし会」などをボランティアの協力を得て定期的に開催し（88回）、多くの参加があり読書への関心を高めました。図書館へ足を運ぶ契機となり、親子で本に親しむ機会ともなっており、十分な効果が上げられました。

・「子どもの森・本のいずみ」の発行

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（140号～151号）しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも掲載しました。毎月購入した資料を確認できるため、子どもたちの読書への意欲を喚起できました。

・テーマ展示（再掲）

毎月のテーマを選び、関連する本を展示しました。

子供図書室特集コーナー（テーマ展示）

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
4	がっこうだいすき	5	ともだちいっぱい	6	よるとつき
7	なつやすみ!	8	おぼけ	9	あき
10	ネコ	11	ゆき	12	クリスマス・お正月
1	おにとまめ	2	ひなまつり	3	はる

・総合的な学習への支援

「職場体験学習」を積極的に受け入れ、図書館業務を体験させることにより、子どもたちの総合的な学習の支援ができました。中学校6件、高等学校4件、その他2件、延べ36人の受入をしました。

③ 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進

22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業について

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、平成16年度より進めている総合戦略プロジェクトです。

「貴重資料修復保存」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門で構成しています。「貴重資料修復保存」は貴重資料の体系的学術調査、修復保存、デジタル画像や複製資料の作成が主な内容です。

「次世代育成プロジェクト」は、図書館の知的財産、人的資源を人材育成に活用しようとするもので、複製資料の高等学校等への貸し出し、貴重資料の展示会、子どもの本展示会、プロジェクト22などが主な内容となっております。

a 図書館の知的財産の活用

・複製資料の貸出

本館貴重資料の複製資料を、県内高等学校、市町村図書館等に貸し出し授業や展示会で活用するものです。

高等学校には5校に貸し出しました。そのうち迫桜高等学校では文化祭に活用されました。

貴重資料の複製資料のほか『源氏物語絵巻』『枕草子』等、古典文学複製資料を、平成22年度は、富谷高等学校、涌谷高等学校など10校と、若柳公民館に貸し出し、名取高等学校では文化祭など学校行事で活用されました。

『東海道五十三次』、『名作日本の風景版画』など、浮世絵の複製資料を、平成22年度は、県立高校では仙台東高等学校、田尻さくら高等学校など3校と利府町図書館に貸し出しました。

・貴重資料の専門調査の実施

平成22年度（第8次調査）は、専門調査員2人により、延べ8日間実施しました。『国絵図』関係資料については、1月21日・29日ほか計6日にわたって、専門調査員の鶴飼幸子氏（元仙台市史編纂室長）に調査頂き、関係文書目録作成について指導を受けました。

『関算四伝書』等算資料については、2月4日・5日の2日間、佐藤賢一氏（電気通信大学准教授）に、本館が所蔵する科学資料の体系について調査して頂き、報告書を作成しました。

・貴重資料の保存修復

平成22年度は『国絵図』の中から『陸奥国仙台領際絵図 出羽国秋田領之方』『福嶋領際絵図 仙台領境』（計2舗）を修復しました。

また、古典籍のマикроフィルム劣化に対応するため、再整備事業を実施しました。平成22年度は『奥州名所図絵』『道中記』など地誌関係の古典籍マイクロフィルム41本を複製し、7本にまとめて収録しました。これを利用することで適切な資料提供が確保されました。

・企画展示会の開催

特別展としては「立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～」(平成22年3月13日～平成22年6月30日)、「時代(とき)をよむ～雑誌と歩んだ130年～」(平成22年7月17日～平成22年12月18日)及び「宮城に眠る玉手箱～のぞいてみよう児童資料の世界～」の計3回本館展示室で開催しました。

「時代(とき)をよむ～雑誌と歩んだ130年～」では、総合雑誌の最長老『中央公論』や県内で出版された児童雑誌『赤い実』も展示しました。

また、企画展として展示室前ギャラリーや展示室内を使用して「判じ物にチャレンジ～判じてごろうじろ」(平成22年11月11日～平成23年6月30日)、「宮城県図書館で化石を探そう！」(平成22年7月17日～平成22年9月30日)、「まるで人間みたい？本にも『背』や『のど』があるんです。～本は大切に扱いましょう～」(平成22年9月1日～平成22年9月30日)、「算額～江戸時代に東北で栄えた数学芸術」(平成22年10月1日～平成22年12月28日)を展示しました。

特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成22年3月13日(土) ～6月30日(水)	「立版古～江戸・明治の飛び出す錦絵～」
2	平成22年7月17日(土) ～12月18日(土)	「時代(とき)をよむ～雑誌と歩んだ130年～」
3	平成23年1月15日(土) ～6月30日(水)	「宮城に眠る玉手箱～のぞいてみよう児童資料の世界～」

企画展

回	開催期間	タイトル
1	平成21年11月11日(水) ～平成22年6月30日(木)	「判じ絵にチャレンジ～判じてごろうじろ」
2	平成22年7月17日(土) ～9月30日(木)	「宮城県図書館で化石を探そう！」
3	平成22年9月1日(水) ～9月30日(木)	「まるで人間みたい？本にも『背』や『のど』があるんです～本は大切に扱いましょう～」
4	平成22年10月1日(金) ～12月28日(火)	「算額～江戸時代に東北で栄えた数学芸術～」

・貴重資料のデジタル画像の公開

「貴重資料修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館ホームページ「叡智の杜Web」でデジタルデータを公開しています。

・子どもの本移動展示会（県内市町村図書館向け）の開催（再掲）

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

県内公共図書館・公民館図書室への移動展示会を行い、18会場で延べ3,860人の入場者がありました。

・子どもの本移動展示会（県内小学校向け）の開催（再掲）

上記と同じ試みです。

小学校への移動展示会は、仙台市を除く希望校80校で開催し、入場者は11,979人ありました。多くの学校から次年度以降も開催を望む声が寄せられています。

b 図書館の人的資源の活用

・『プロジェクト22』一宮城県図書館活用推進事業一の展開（再掲）

平成16年度にスタートしたプロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。

22年度は3つのグループで、企画した計画を実施しました。（表省略）

・特別事業「館長講座」（再掲）

「ヨーロッパからみた地方分権」と題して3回にわたり講演しました。

館長自ら、訪問し調査した結果をもとに国毎の特色、歴史的特殊事情、自治に関する組織体制など、社会の成熟期にさしかかった我が国の自治の今後のあり方を考える際の参考事例を取り上げて考察し、紹介しました。（表省略）

・「みやぎ県民大学開放講座」（再掲）

平成22年度の「みやぎ県民大学開放講座」（全4講座）は本館職員（個人とグループ）が担当し実施しました。（職員個人6人（うち4人はグループ）と顧問1人による自主企画事業）（表省略）

・総合的な学習への支援（再掲）

「職場体験学習」を積極的に受け入れ、図書館業務を体験させることにより、子どもたちの総合的な学習の支援ができました。中学校6件、高等学校4件、その他2件、延べ36人の受入をしました。

・施設見学の実施（再掲）

学校や市民グループなどを対象とした施設見学は、それぞれの団体から申し込みを受け、保育所1、小学校7（そのうち2回来館1校）、高等学校7、支援学校3、大学4、一般12（そのうち2回来館1団体）団体の延べ34団体に実施しました。

平成22年度は、県内は迫桜高等学校の教員と図書委員の生徒計22人など延べ28団体879人、県外からは山形県東根市東郷公民館など6団体229人、合わせて延べ34団体1,108人が閉架書庫などを見学し、本館資料と機能についての理解を深めました。

・「図書館親子ツアー」

「図書館親子ツアー」を夏休み中の子どもたちを対象に2回実施しました。

回	日時	内 容	参加人数
1	8月4日（水）	閉架書庫の案内、所蔵資料の紹介	親子 8組 （計17人）
2	8月7日（土）		親子 5組 （計13人）

4 平成22年度宮城県図書館協議会

(1) 設置根拠

図書館の運営に関しての館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関として設置されている（宮城県図書館協議会設置条例）。

- (2) 委員数
- | | |
|-----|----|
| 会 長 | 1人 |
| 副会長 | 1人 |
| 委 員 | 6人 |
| 計 | 8人 |

第30次宮城県図書館協議会委員

(任期：平成22年3月1日～平成24年2月29日) 平成22年7月1日現在

区 分	氏 名	役 職 名
会 長	澤 井 清	宮城学院女子大学 名誉教授
副会長	鵜 飼 信 好	宮城県漁業信用基金協会 理事長
委 員	小 川 きょう子	小川ピアノ教室主宰
委 員	奥 山 恒 義	宮城県石巻西高等学校 校長
委 員	齋 藤 俊 子	仙台市立太白小学校 校長
委 員	千 葉 和 江	石巻市図書館 館長
委 員	横 田 隆 雄	大和町公民館 館長
委 員	渡 辺 雅 昭	(株)河北新報 編集局生活文化部長

(3) 開催状況

第1回 平成22年7月1日（木）

- 報告事項 (1) 平成21年度事業の実施状況について
(2) 平成22年度事業計画について

協議事項 宮城県図書館の自己評価について

第2回 平成23年2月18日（金）

- 報告事項 (1) 平成22年度事業実施状況について
(2) 宮城県図書館の自己評価について
(3) 県図書館文化財資料等の移管について
(4) 宮城県公文書館の移転について

書籍について

その他 電子

5 平成22年度図書館資料利用状況等（統計）

(1) 受入資料一覧表 図書・視聴覚資料 (現在高 = 平成23年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	6,895	1,055	150	8,100	7,959	141	667,310
洋書	6	5	3	14	39	-25	17,047
ハンゲル資料	0	0	0	0	1	-1	2,075
中国書				0	0	0	5,790
一般図書等 小計	6,901	1,060	153	8,114	7,999	115	692,222
貸出用児童書	2,374	24	39	2,437	1,159	1,278	65,913
保存用児童書	2,324	156	2,116	4,596	1,112	3,484	95,275
保存用紙芝居			2,395	2,395		2,395	2,395
貸出用紙芝居	7	3	68	78		78	926
街頭紙芝居				0			5,333
教育紙芝居				0			1,473
児童資料 小計	4,705	183	4,618	9,506	2,271	7,235	171,315
郷土資料	266	1,129		1,395	10	1,385	59,870
和古書				0			38,417
漢籍				0			18,886
地図資料	107	1		108		108	9,732
電子図書				0			922
マイクロフィルム	135	1		136		136	16,972
郷土資料等 小計	508	1,131	0	1,639	10	1,629	144,799
館外用図書				0		0	3,590
図書資料小計	12,114	2,374	4,771	19,259	10,280	8,979	1,011,926
16mmフィルム				0			1,683
録画テープ(Uマチック)				0			24
録画テープ(ベータ)				0			30
録画テープ(VHS)				0	470	-470	13,082
8mmフィルム				0			18
CD-ROM(主に映像)				0			341
レコード				0			1,320
コンパクトディスク	87	37	5	129	256	-127	16,109
楽譜	13		1	14	947	-933	8,858
レーザーディスク				0		0	950
DVDビデオ	270	34	27	331	6	325	3,007
カセットテープ	2			2	86	-84	4,533
オープンリールテープ				0		0	773
スライドフィルム				0		0	1,174
ELIB				0		0	99
視聴覚資料小計	372	71	33	476	1,765	-1,289	52,001
総計	12,486	2,445	4,804	19,735	12,045	7,690	1,063,927

逐次刊行物

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	9,460種	1,557種	368種	1,189種	17種
	みやぎ資料室	2,692種	409種	10種	399種	
	子ども図書室	270種	35種	16種	19種	
	小 計	12,422種	2,001種	394種	1,607種	17種
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,316種	569種	243種	326種	
	子ども図書室	21種	3種	1種	2種	
	小 計	3,337種	572種	244種	328種	
行政資料	新聞雑誌室	2,907種	500種	187種	313種	
	みやぎ資料室	1,995種	110種	0種	110種	
	小 計	4,902種	610種	187種	423種	
新 聞	新聞雑誌室	657種	80種	53種	27種	1種
	みやぎ資料室	200種	12種	0種	12種	
	子ども図書室	4種	1種	1種	0種	
	小 計	861種	93種	54種	39種	1種
計		21,522種	3,276種	879種	2,397種	18種
前年度		21,085種	3,452種	849種	2,603種	13種

*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

(2)開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

	開館日数	入館者数※1	1日平均 入館者数※	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
平成22年 4月	26日	39,142人	1,505人	74,196冊	2,854冊	3,211件
5月	26日	41,134人	1,582人	74,661冊	2,872冊	3,725件
6月	26日	41,404人	1,592人	69,425冊	2,670冊	3,760件
7月	27日	46,844人	1,735人	79,354冊	2,939冊	4,767件
8月	26日	50,801人	1,954人	81,848冊	3,148冊	4,943件
9月	26日	43,610人	1,677人	73,280冊	2,818冊	4,328件
10月	27日	42,823人	1,586人	76,091冊	2,818冊	4,510件
11月	25日	39,364人	1,575人	70,876冊	2,835冊	4,501件
12月	24日	33,658人	1,402人	66,004冊	2,750冊	3,915件
平成23年 1月	19日	30,650人	1,613人	57,470冊	3,025冊	3,545件
2月	22日	35,859人	1,630人	67,735冊	3,079冊	4,085件
3月	10日	13,273人	1,475人	25,219冊	2,522冊	1,442件
合 計	284日	458,562人	1,621人	816,159冊	2,874冊	46,732件
前年度合計	296日	496,501人	1,677人	903,075冊	3,051冊	33,220件
増 減	- 12日	- 37,939人	- 56人	- 86,916冊	- 177冊	+ 13,512件

※入館者数については3月11日のデータが取れなかったため、1日平均の母数を9日で計算した。
個人貸出冊数については、3月11日のデータが入っているため1日平均の母数を10にした。また、調査相談件数も3月11日分がデータに入っている。

個人貸出数の居住市町村別内訳(平成22年度分で構成比の多い順)

	平成21年度		平成22年度		
	貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比	
仙台市	705,159冊	78.1%	640,543冊	78.4%	
(内訳)	青葉区	204,495冊	22.7%	186,589冊	22.9%
	宮城野区	27,734冊	3.1%	24,998冊	3.1%
	若林区	7,442冊	0.8%	7,284冊	0.9%
	太白区	20,237冊	2.2%	19,200冊	2.4%
	泉区	445,251冊	49.3%	402,472冊	49.1%
富谷町	102,976冊	11.4%	95,384冊	11.7%	
大和町	30,108冊	3.3%	27,382冊	3.4%	
大崎市	12,496冊	1.4%	10,901冊	1.3%	
利府町	11,059冊	1.2%	8,806冊	1.1%	
多賀城市	4,585冊	0.5%	4,344冊	0.5%	
名取市	3,548冊	0.4%	3,353冊	0.4%	
塩竈市	4,050冊	0.5%	2,922冊	0.4%	
その他	29,094冊	3.2%	22,524冊	2.8%	
合計	903,075冊	100.0%	816,159冊	100.0%	

(3) 利用登録者数

居住市町村別内訳(平成22年度分で構成比の多い順)

	22年3月末現在	23年3月末現在
利用登録者数	251,682人	258,521人
対前年比	+ 7,937人	+ 6,839人
新規登録者数	7,991人	6,867人

* 対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

	22年3月末現在		23年3月末現在		
	登録者数	構成比	登録者数	構成比	
仙台市	191,754人	76.2%	196,724人	76.1%	
(内訳)	青葉区	61,986人	24.6%	63,701人	24.6%
	宮城野区	18,058人	7.2%	18,428人	7.1%
	若林区	7,906人	3.1%	8,088人	3.1%
	太白区	17,388人	7.0%	17,715人	6.9%
	泉区	86,416人	34.3%	88,792人	34.4%
富谷町	17,298人	6.9%	17,934人	6.9%	
大和町	5,976人	2.4%	6,196人	2.4%	
大崎市	5,250人	2.1%	5,420人	2.1%	
利府町	4,579人	1.8%	4,711人	1.8%	
多賀城市	3,938人	1.5%	4,062人	1.6%	
名取市	3,646人	1.4%	3,752人	1.5%	
塩竈市	2,751人	1.1%	2,826人	1.1%	
その他	16,490人	6.6%	16,896人	6.5%	
合計	251,682人	100.0%	258,521人	100.0%	

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊

分類	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	28,511	36,532	76,708	124,386	46,878	45,383	28,174	60,161	12,236	168,944	2,275	22,389	144,799	171,315	52,001	43,235	1,063,927
構成比 *1	2.7%	3.4%	7.2%	11.7%	4.4%	4.3%	2.6%	5.7%	1.2%	15.8%	0.2%	2.1%	13.6%	16.1%	4.9%	4.1%	100.0%
構成比 *2	4.5%	5.8%	12.2%	19.8%	7.5%	7.2%	4.5%	9.6%	1.9%	27.0%							100.0%
前年度計	28,312	36,376	75,936	124,328	46,714	45,185	27,946	59,674	12,476	170,604	2,360	24,938	115,788	164,080	53,290	68,230	1,056,237
増減	199	156	772	58	164	198	228	487	-240	-1,660	-85	-2,549	29,011	7,235	-1,289	-24,995	7,690

分類	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計	
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他							
月別個人貸出冊数	22年4月	561	2,115	3,397	4,270	2,729	3,589	1,651	3,782	627	15,231	6,085	162		16,835	13,162		74,196
	5月	617	2,162	3,096	4,601	3,029	3,592	1,680	3,806	668	14,832	6,324	165		16,398	13,691		74,661
	6月	577	2,172	2,899	4,363	2,829	3,537	1,659	3,603	588	13,875	5,387	123		15,631	12,182		69,425
	7月	713	2,355	3,453	4,790	3,028	3,700	1,598	3,953	684	15,462	5,977	174		20,948	12,519		79,354
	8月	642	2,150	3,369	4,927	3,015	3,472	1,539	4,004	640	15,603	6,533	148		23,401	12,405		81,848
	9月	581	2,147	3,196	4,367	2,733	3,410	1,397	3,832	670	15,372	6,182	132		17,353	11,908		73,280
	10月	623	2,105	3,202	4,730	2,757	3,444	1,491	4,018	763	15,444	6,492	113		18,442	12,467		76,091
	11月	505	1,957	3,073	4,408	2,497	3,498	1,390	3,540	710	14,696	5,844	86		17,685	10,987		70,876
	12月	552	1,931	3,034	4,383	2,333	3,220	1,147	3,513	606	14,173	5,430	87		15,195	10,401		66,005
	23年1月	503	1,586	2,732	3,687	2,045	2,976	1,121	2,960	482	12,021	4,930	86		13,189	9,153		57,471
	2月	473	1,809	3,176	4,094	2,364	3,343	1,313	3,616	583	14,337	5,691	134		15,838	10,964		67,735
	3月	226	742	1,196	1,386	956	1,266	538	1,500	236	5,523	2,033	60		5,392	4,163		25,217
年度計	6,573	23,231	35,823	50,006	30,315	39,047	16,524	42,127	7,257	166,569	66,908	1,470	-	196,307	134,002	-	816,159	
構成比 *1	0.8%	2.8%	4.4%	6.1%	3.7%	4.8%	2.0%	5.2%	0.9%	20.4%	8.2%	0.2%		24.1%	16.4%		100.0%	
構成比 *2	1.6%	5.6%	8.6%	12.0%	7.3%	9.4%	4.0%	10.1%	1.7%	39.7%							100.0%	
前年度計	7,648	24,508	36,621	54,547	34,440	44,687	19,357	45,723	7,637	180,363	75,403	1,591	-	208,225	162,325	-	903,075	
増減	-1,075	-1,277	-798	-4,541	-4,125	-5,640	-2,833	-3,596	-380	-13,794	-8,495	-121		-11,918	-28,323		-86,916	

構成比 *1：対総数での構成比を算出したもの 構成比 *2：一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

(5) 古書閲覧及び特別利用

		閲覧利用	特別利用								
			特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾	計
22年 4月	利用件数	7件	2件	0件		4件			1件		7件
	利用冊数	29冊	12冊	0冊		14冊			3冊		29冊
5月	利用件数	7件	1件	3件		4件			1件		9件
	利用冊数	22冊	1冊	22冊		23冊			3冊		49冊
6月	利用件数	7件	2件	1件		3件			1件		7件
	利用冊数	22冊	4冊	1冊		5冊			1冊		11冊
7月	利用件数	9件	8件	2件		10件			1件		21件
	利用冊数	161冊	27冊	6冊		30冊			1冊		64冊
8月	利用件数	16件	6件	2件		7件	1件		0件		16件
	利用冊数	143冊	10冊	6冊		9冊	1冊		0冊		26冊
9月	利用件数	10件	1件	0件		6件			0件		7件
	利用冊数	24冊	1冊	0冊		15冊			0冊		16冊
10月	利用件数	4件	6件	0件		4件			0件		10件
	利用冊数	39冊	8冊	0冊		10冊			0冊		18冊
11月	利用件数	8件	1件	0件		4件			0件		5件
	利用冊数	14冊	1冊	0冊		4冊			0冊		5冊
12月	利用件数	8件	3件	2件		3件			0件		8件
	利用冊数	30冊	6冊	6冊		3冊					15冊
23年 1月	利用件数	9件	3件	2件		3件			2件		10件
	利用冊数	104冊	6冊	4冊		3冊			3冊		16冊
2月	利用件数	11件	2件	0件	6件	0件			0件		8件
	利用冊数	93冊	2冊	0冊	7冊	0冊			0冊		9冊
3月	利用件数	4件	2件	1件		6件			0件		9件
	利用冊数	44冊	2冊	1冊		7冊			0冊		10冊
計	利用件数	100件	37件	13件	6件	54件	1件	0件	6件	0件	117件
	利用冊数	725冊	80冊	46冊	7冊	123冊	1冊	0冊	11冊	0冊	268冊
前年度計	利用件数	76件	32件	7件	0件	85件	2件	0件	10件	0件	136件
	利用冊数	1,388冊	83冊	202冊	0冊	105冊	2冊	0冊	19冊	0冊	411冊

(6) 調査相談の利用

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
22年 4月	284件	19件	13件	2,895件	0件	3,211件
5月	319件	16件	14件	3,376件	0件	3,725件
6月	361件	15件	43件	3,341件	0件	3,760件
7月	364件	14件	14件	4,375件	0件	4,767件
8月	389件	7件	20件	4,527件	0件	4,943件
9月	339件	13件	7件	3,969件	0件	4,328件
10月	417件	5件	12件	4,076件	0件	4,510件
11月	360件	14件	16件	4,111件	0件	4,501件
12月	311件	11件	8件	3,585件	0件	3,915件
23年 1月	288件	12件	24件	3,221件	0件	3,545件
2月	349件	10件	21件	3,705件	0件	4,085件
3月	133件	3件	8件	1,298件	0件	1,442件
計	3,914件	139件	200件	42,479件	0件	46,732件
前年度計	3,139件	126件	169件	29,785件	1件	33,220件

(7) 文献複写及び撮影の利用

複写分 ○種類別枚数

種別		枚数
電子複写	白黒	122,173 (134,497)
	カラー	277 (505)
マイクロフィルム		18,458 (28,460)
計		140,908 (163,462)
月平均		11,742 (13,622)

○受付窓口別枚数

窓口	枚数
一般図書 カウンター	16,585 (18,751)
調査相談 カウンター	18,127 (19,561)
新聞雑誌室	55,450 (64,693)
みやぎ資料室	50,746 (60,457)
計	140,908 (163,462)

撮影分

写真撮影	7,514 (1,533)
------	------------------

※()内は、前年度

(8) 図書館間の相互協力

協力貸出冊数

図書館名	21年度	22年度
仙台市民	857冊	763冊
仙台市広瀬	146冊	160冊
仙台市宮城野	291冊	302冊
仙台市榴岡	202冊	156冊
仙台市若林	328冊	340冊
仙台市太白	582冊	465冊
仙台市泉	594冊	604冊
石巻市	839冊	461冊
塩竈市民	593冊	476冊
気仙沼	470冊	481冊
[気仙沼市]本吉町	260冊	107冊
白石市	622冊	706冊
名取市	1,129冊	1,152冊
角田市	678冊	869冊
多賀城市立	931冊	962冊
岩沼市	555冊	288冊
登米市立迫	748冊	736冊
登米市立登米	162冊	166冊

図書館名	21年度	22年度
栗原市立	837冊	827冊
東松島市	544冊	591冊
大崎市	981冊	883冊
蔵王町立	905冊	618冊
柴田町	0冊	1,042冊
丸森町立金山	33冊	7冊
亘理町立	612冊	796冊
利府町	975冊	776冊
加美町中新田	364冊	145冊
加美町小野田	752冊	402冊
美里町小牛田	1,371冊	1,221冊
美里町南郷	152冊	147冊
南三陸町	380冊	527冊
小計	17,893冊	17,176冊
公民館図書室等	6,669冊	4,998冊
県内貸出計	24,562冊	22,174冊
県外図書館等	1,172冊	1,026冊
合計	25,734冊	23,200冊

協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	21年度	22年度
北海道	305冊	161冊
青森	112冊	102冊
岩手	194冊	142冊
秋田	92冊	93冊
山形	132冊	117冊
福島	87冊	111冊
茨城	11冊	9冊
栃木	4冊	26冊
群馬	8冊	8冊
埼玉	25冊	17冊
千葉	32冊	30冊
東京	9冊	24冊
神奈川	8冊	4冊
新潟	17冊	22冊
山梨	3冊	5冊
長野	0冊	6冊
静岡	6冊	9冊
富山	5冊	2冊
石川	1冊	2冊
福井	1冊	0冊
岐阜	1冊	3冊
愛知	19冊	16冊
三重	27冊	22冊

都道府県	21年度	22年度
滋賀	10冊	10冊
京都	9冊	13冊
大阪	13冊	12冊
兵庫	3冊	2冊
奈良	2冊	0冊
和歌山	0冊	1冊
鳥取	3冊	2冊
島根	0冊	1冊
岡山	7冊	15冊
広島	1冊	4冊
山口	0冊	1冊
徳島	0冊	3冊
香川	2冊	1冊
愛媛	5冊	6冊
高知	0冊	2冊
福岡	2冊	12冊
佐賀	1冊	1冊
長崎	11冊	1冊
熊本	0冊	2冊
大分	0冊	0冊
宮崎	2冊	2冊
鹿児島	0冊	0冊
沖縄	2冊	4冊
計	1,172冊	1,026冊

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数			借受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
22年 4月	1,904冊	133冊	2,037冊	55冊	11冊	1冊	67冊	1冊	14冊	15件	0冊	2冊	1冊	3件	5件	2件	7件
5月	2,160冊	88冊	2,248冊	58冊	9冊	2冊	69冊	30冊	107冊	137件	0冊	4冊	6冊	10件	14件	2件	16件
6月	2,394冊	102冊	2,496冊	66冊	7冊	2冊	75冊	0冊	79冊	79件	0冊	0冊	1冊	1件	9件	6件	15件
7月	2,036冊	97冊	2,133冊	47冊	12冊	5冊	64冊	5冊	53冊	58件	0冊	1冊	3冊	4件	11件	3件	14件
8月	1,830冊	84冊	1,914冊	60冊	2冊	5冊	67冊	19冊	3冊	22件	0冊	0冊	8冊	8件	11件	2件	13件
9月	1,760冊	106冊	1,866冊	80冊	15冊	0冊	95冊	0冊	9冊	9件	0冊	6冊	3冊	9件	7件	1件	8件
10月	2,071冊	89冊	2,160冊	97冊	6冊	0冊	103冊	21冊	97冊	118件	27冊	0冊	48冊	75件	8件	1件	9件
11月	2,072冊	83冊	2,155冊	77冊	20冊	3冊	100冊	19冊	196冊	215件	0冊	94冊	0冊	94件	15件	3件	18件
12月	1,771冊	62冊	1,833冊	72冊	14冊	1冊	87冊	15冊	53冊	68件	0冊	2冊	8冊	10件	6件	2件	8件
23年 1月	1,493冊	54冊	1,547冊	50冊	9冊	0冊	59冊	0冊	7冊	7件	0冊	3冊	0冊	3件	7件	1件	8件
2月	1,957冊	94冊	2,051冊	78冊	12冊	2冊	92冊	19冊	23冊	42件	0冊	1冊	0冊	1件	4件	0件	4件
3月	726冊	34冊	760冊	21冊	2冊	0冊	23冊	0冊	0冊	0件	0冊	5冊	3冊	8件	5件	1件	6件
計	22,174冊	1,026冊	23,200冊	761冊	119冊	21冊	901冊	129冊	641冊	770冊	27冊	118冊	81冊	226冊	102冊	24冊	126冊
前年度計	24,562冊	1,172冊	25,734冊	750冊	172冊	12冊	934冊	65件	245件	310件	3件	33件	284件	320件	93件	44件	137件

貸出依頼受付件数

	平成21年度	平成22年度	平成22年度の内訳		
			県内分	県外分	
貸出依頼受付件数	26,024件	23,330件	22,245件	1,085件	
処理状況	所蔵対応件数	25,255件	22,762件	21,736件	1,026件
	購入対応件数	479件	438件	438件	0件
	貸出対応 小計	25,734件	23,200件	22,174件	1,026件
	借受・他館紹介等	91件	5件	5件	0件
	提供不可	199件	125件	66件	59件

(9)障がい者サービス

郵送貸出の利用

	新規登録		資料別										合計
			図書	朗読テープ		デジ版		点字雑誌	ビデオ	CD	DVD	楽譜その	
22年 4月	2人	利用件数	33件	38件		6件		4件	3件	12件	1件	1件	98件
		利用冊数	94冊	35タイトル	109点	2タイトル	6冊	10冊	10点	44点	1点	1点	275点
5月	0人	利用件数	31件	11件		0件		4件	2件	9件	1件	0件	58件
		利用冊数	78冊	29タイトル	66点	0タイトル	0冊	10冊	10点	32点	1点	0点	197点
6月	0人	利用件数	33件	11件		0件		4件	6件	14件	1件	0件	69件
		利用冊数	108冊	28タイトル	71点	0タイトル	0冊	10冊	25点	53点	1点	0点	268点
7月	0人	利用件数	38件	19件		3件		3件	3件	13件	0件	0件	79件
		利用冊数	144冊	26タイトル	84点	1タイトル	3冊	5冊	10点	49点	0点	0点	295点
8月	3人	利用件数	30件	8件		0件		4件	3件	9件	0件	0件	54件
		利用冊数	91冊	20タイトル	47点	0タイトル	0冊	10冊	8点	29点	0点	0点	185点
9月	1人	利用件数	40件	32件		3件		4件	2件	16件	0件	1件	98件
		利用冊数	134冊	36タイトル	111点	1タイトル	3冊	10冊	8点	50点	0点	1点	317点
10月	1人	利用件数	40件	21件		4件		4件	2件	19件	3件	0件	93件
		利用冊数	120冊	29タイトル	82点	1タイトル	4冊	10冊	7点	63点	3点	0点	289点
11月	3人	利用件数	41件	17件		4件		5件	2件	23件	0件	0件	92件
		利用冊数	134冊	31タイトル	72点	1タイトル	4冊	12冊	7点	73点	0点	0点	302点
12月	2人	利用件数	32件	32件		8件		3件	2件	18件	1件	0件	96件
		利用冊数	135冊	16タイトル	78点	2タイトル	8冊	12点	8点	63点	1点	0点	305点
23年 1月	0人	利用件数	28件	16件		4件		4件	3件	12件	0件	0件	67件
		利用冊数	100冊	20タイトル	67点	1タイトル	4冊	6点	9点	47点	0点	0点	233点
2月	0人	利用件数	40件	9件		0件		4件	3件	19件	2件	1件	78件
		利用冊数	102冊	16タイトル	74点	0タイトル	0冊	10点	9点	71点	2点	1点	269点
3月	0人	利用件数	0件	12件		4件		2件	0件	5件	0件	0件	23件
		利用冊数	0冊	10タイトル	35点	1タイトル	4冊	7点	0点	16点	0点	0点	62点
計	12人	利用件数	386件	226件		36件		45件	31件	169件	9件	3件	905件
		利用冊数	1,240冊	296タイトル	896点	10タイトル	36冊	112冊	111点	590点	9点	3冊	2,997点
前年度計	29人	利用件数	432件	243件		36件		51件	42件	97件	12件	1件	914件
		利用冊数	1,304冊	322タイトル	863点	12タイトル	36冊	126冊	137点	334点	12点	1点	2,813点

※朗読テープは、音と映像のフロアでの貸出の他、「ことばのうみ」テープ版と「声の情報誌」テープ版の貸出総数。

音訳サービスの利用及び調査相談件数

		朗読テープの作成		対面朗読		電話音訳		計	調査 相談 件数
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
22年 4月	実施件数	1件	4件	0件	0件	10件	11件	26件	55件
	のべ時間	1.0時間	37.0時間	0.0時間	0.0時間	3.0時間	7.7時間	48.7時間	
5月	実施件数	3件	3件	0件	0件	7件	15件	28件	45件
	のべ時間	6.0時間	13.0時間	0.0時間	0.0時間	4.0時間	12.7時間	35.7時間	
6月	実施件数	4件	4件	0件	0件	6件	14件	28件	54件
	のべ時間	8.0時間	29.0時間	0.0時間	0.0時間	2.4時間	119.0時間	158.4時間	
7月	実施件数	3件	3件	0件	0件	5件	18件	29件	56件
	のべ時間	6.0時間	15.0時間	0.0時間	0.0時間	2.0時間	14.7時間	37.7時間	
8月	実施件数	4件	4件	0件	0件	6件	13件	27件	48件
	のべ時間	10.0時間	47.0時間	0.0時間	0.0時間	2.3時間	13.1時間	72.4時間	
9月	実施件数	3件	3件	0件	0件	4件	12件	22件	54件
	のべ時間	6.0時間	15.0時間	0.0時間	0.0時間	2.2時間	9.4時間	32.6時間	
10月	実施件数	3件	3件	0件	0件	7件	11件	24件	69件
	のべ時間	6.0時間	23.0時間	0.0時間	0.0時間	1.5時間	6.1時間	36.6時間	
11月	実施件数	4件	4件	0件	0件	6件	7件	21件	72件
	のべ時間	8.0時間	27.0時間	0.0時間	0.0時間	2.5時間	3.9時間	41.4時間	
12月	実施件数	4件	4件	0件	0件	5件	8件	21件	54件
	のべ時間	8.0時間	37.0時間	0.0時間	0.0時間	1.1時間	5.2時間	51.3時間	
23年 1月	実施件数	2件	2件	0件	0件	5件	8件	17件	73件
	のべ時間	3.0時間	7.0時間	0.0時間	0.0時間	3.3時間	9.0時間	22.3時間	
2月	実施件数	2件	2件	0件	0件	7件	12件	23件	26件
	のべ時間	5.0時間	11.0時間	0.0時間	0.0時間	3.1時間	9.8時間	28.9時間	
3月	実施件数	1件	3件	0件	0件	3件	4件	11件	43件
	のべ時間	1.0時間	13.0時間	0.0時間	0.0時間	1.5時間	3.0時間	18.5時間	
計	実施件数	34件	39件	0件	0件	71件	133件	277件	649件
	のべ時間	68.0時間	274.0時間	0.0時間	0.0時間	28.9時間	213.6時間	584.5時間	
前年度計	実施件数	50件	55件	0件	2件	82件	171件	360件	764件
	のべ時間	115.0時間	650.0時間	0.0時間	8.0時間	27.2時間	144.0時間	944.7時間	

(10)施設見学状況

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		見学等小計		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合 計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成22年 4月	0	0	1	77	0	0	1	77	0	0	0	0	0	0	1	77
5月	0	0	3	151	1	130	4	281	2	23	0	0	0	0	4	281
6月	0	0	2	23	3	44	5	67	1	9	0	0	0	0	5	67
7月	0	0	3	48	1	48	4	96	3	48	0	0	2	6	6	102
8月	0	0	4	66	1	22	5	88	4	61	0	0	0	0	5	88
9月	0	0	2	24	2	142	4	166	3	129	0	0	2	2	6	168
10月	1	40	5	131	1	82	6	213	2	103	0	0	3	11	10	264
11月	0	0	2	33	0	0	2	33	2	33	0	0	5	17	7	50
12月	1	40	0	0	2	64	2	64	2	64	0	0	0	0	3	104
平成23年 1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	1	23	0	0	1	23	0	0	0	0	0	0	1	23
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	80	23	576	11	532	34	1,108	19	470	0	0	12	36	48	1,224
前年度合計	3	52	9	240	17	373	29	665	3	73	2	11	6	17	40	745

6 広報活動並びに刊行物

(1) 広報活動

イ 広報誌

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』

第34号（平成22年7月），第35号（平成22年11月），第36号（平成23年3月）を発行しました。

ロ テレビ・ラジオ

- ・エフエムいずみ放送の番組「Lady, Go!」の毎月第2木曜日「宮城県図書館コーナー」に職員が出演し，施設の利用案内，主催事業等について広報しました。また，テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施しました。

ハ インターネット

- ・行事案内，新着資料案内等をホームページに掲載しました。
- ・メールマガジンを発行しました。

第16号（平成22年4月）第17号（平成22年5月）第18号（平成22年6月）第19号（平成22年7月）

第20号（平成22年8月）第21号（平成22年9月）第22号（平成22年10月）第23号（平成22年11月）

第24号（平成22年12月）第25号（平成23年1月）第26号（平成23年2月）第27号（平成23年3月）

(2) 刊行物

イ 平成22年度要覧

（企画協力班）

ロ 利用案内

（企画協力班）

ハ 第41回子どもの本展示会目録

（利用サービス班）

ニ 児童図書の新刊紹介「子どもの森・本のいずみ」NO. 140～151

（利用サービス班）

ホ 平成22年度図書館・公民館図書室等現状調査

（企画協力班）

ヘ 宮城県図書館協会だより

（総務班）

7 平成 22 年度の主な行事

月	行 事 等	備 考
4	15 日 ボランティア専門講座（音訳①） 17 日 子どもの本展示会（～4/29） 22 日 ボランティア専門講座（音訳②）	
5	12 日 ボランティア専門講座（音訳③） 13 日 ボランティア専門講座（音訳④） ボランティア追加登録者養成講座（一般講座補講） 14 日 公共図書館等初任者研修（前期） 15 日 ボランティア追加登録者養成講座（一般講座補講） 20 日 ボランティア専門講座（音訳⑤） 28 日 図書館協会監査会・役員会・総会	
6	7 日 第 1 回防災訓練 5 日 ボランティア専門講座（図書館案内①） 10 日 ボランティア専門講座（図書館案内②） 11 日 公共図書館連絡会議	
7	1 日 第 1 回宮城県図書館協議会 ボランティア専門講座（音訳⑥） 2 日 公民館図書室職員研修 17 日 特別展「時代（とき）をよむ～雑誌と歩んだ 130 年～」（～12/18） ボランティア専門講座（図書館案内③） 23 日 ボランティア専門講座（図書館案内④） 25 日 宮城県図書館創立記念日（創立 129 周年） 31 日 館長講座「ヨーロッパにおける地方分権①「スウェーデン・デンマーク」	
8	4 日 図書館親子ツアー① 7 日 図書館親子ツアー② 27 日 公共図書館等初任者研修会（後期） 28 日 館長講座「ヨーロッパにおける地方分権②「ドイツ・フランス」	
9	9 日 ボランティア専門講座（音訳⑦） 25 日 館長講座「ヨーロッパにおける地方分権③「イギリス」	
10	17 日 国民読書年記念「読み聞かせ講座①」 22 日 公共図書館等職員研修会Ⅰ 24 日 国民読書年記念「読み聞かせ講座②」 31 日 国民読書年記念「読み聞かせ講座③」	
11	5 日 公共図書館等職員研修Ⅱ 6 日 みやぎ県民大学①「工夫するとおもしろい。分析すると何かが見える。～算数と数学の違いと九九の不思議」 13 日 みやぎ県民大学②「書の私的鑑賞と創作への手がかり」 19 日 公立図書館等連絡会議 20 日 みやぎ県民大学③「時代をよむ～雑誌と歩んだ 130 年～」 27 日 みやぎ県民大学④鎮守の杜と日本人の心の原風景	
12	3 日 公共図書館等職員研修会Ⅲ	
1	15 日 ボランティア専門講座（図書館案内⑤） 17 日 特別展「宮城に眠る玉手箱～のぞいてみよう児童資料の世界～」（～H23/6/30）	

	18日 ボランティア専門講座（図書館案内⑥） 21日 貴重資料専門調査 27日 特別整理期間（～2/2） 29日 貴重資料専門調査	
2	4日 貴重資料専門調査 5日 〃 11日 〃 12日 〃 18日 第2回宮城県図書館協議会 19日 貴重資料専門調査	
3	3日 23年度ボランティア養成講座 5日 〃 貴重資料専門調査	

IV 平成23年度事業計画

1 平成23年度予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (22年度当初)	概 要
管 理 経 費	213,764 (212,570)	本館の運営維持費（定員内職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	325 (454)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	3,464 (3,553)	機器使用料，消耗品等に要する経費
市 町 村 連 携 費	51,980 (53,545)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	877 (746)	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	42,978 (42,711)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	— (2,031)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	313,388 (315,610)	

東日本大震災に伴う被害の復旧に関する事業については、予算の議決を経て、順次追加して実施することとしており、記載していません。

2 平成23年度事業計画

(1) 生涯学習に役立つ図書館

資料の収集・整備

① 目的

宮城県図書館は、すべての県民が目的に応じた知識や情報を入手して、生活の向上、地域の発展に貢献し、広く文化的な営みを持つための情報提供の拠点として存在する。

このような本館の使命にかんがみ、公平かつ長期的な視点に立って、公共図書館として備えるべき適切な蔵書構成の実現を図るものである。

② 収集に努める資料

- a 広く県民の学習に供する資料
- b 県民の多様な調査・研究に役立つ資料
- c 次世代の育成のための宮城資料及び児童資料
- d 県民の「知る自由」に応えることができる資料
- e 時間の経過にあっても輝きを失わない資料
- f 市町村図書館等からのニーズに応えることができ、かつ本館の目的に合う資料

資料費予算配分

(単位 千円)

	需用費	備品費	計	装 備 費 等
逐次刊行物	11,500	0	11,500	2,865 973 113 3,951
郷土	1,914	433	2,347	
調査相談	430	0	430	
視聴覚	1,807	0	1,807	
児童	5,912	0	5,912	
障害者	109	0	109	
一般図書	16,728	194	16,922	
計	38,400	627	39,027	3,951
合 計				42,978

蔵書点検（特別整理期間）

平成24年1月26日（木）から平成24年2月1日（水）までの6日間

生涯学習情報の提供

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	図書館ボランティア研修	ボランティアに必要な図書館活動等の考え方や技術の理解を促すため、各分野の研修を行う。	図書館ボランティア登録者	随時	県図書館
2	上映会	図書館所蔵の視聴覚資料（LD、ビデオ、DVD）を活用した上映会を通じて県民の多様な学習ニーズに応える。	県民	毎月第2・4 金土曜日	県図書館 ミニシアター 青柳館
3	夏休み上映会	心の交流を対象とした内容の映画鑑賞を通じて、家族間のコミュニケーション、交流の機会を提供し、家族の絆の深化、家族の教育力の向上を支援する。	県民	7月23日(土) 7月24日(日) 8月20日(土) 8月21日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館

4	家族で観る映画会	豊かな心情を育てる内容の映画鑑賞を通じて家族間のコミュニケーション、交流の機会を提供し、家族の絆の深化、家庭の教育力の向上を支援する。	県民	1月7日(土) 1月8日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館
5	春休み子ども映画会	春休み期間に幼児・児童を対象にして豊かな心情を育てる内容の映画に触れる機会とする。	県民	3月24日(土) 3月25日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館
6	『プロジェクト22』	職員による研究成果等を県民に提供する。	県民	未定	県図書館
7	みやぎ県民大学 『専門施設開放講座』	職員による本館資料を活用した講座を実施する。	県民	11月,4回	県図書館

利用しやすい図書館への工夫

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	インターネットによる資料予約	導入している予約サービスに支障が生じないように常に課題意識を持ち、もし支障が生じた場合、その改善を図る。	県図書館	随時	県図書館
2	施設見学	学校や市民グループなど団体を対象とした施設見学を通じて、図書館の機能を紹介する。	市町村・ 学校司書	随時	県図書館
3	広報活動	広報誌『ことばのうみ』『子どもの森・本のいずみ』の発行やメールマガジンなどを通じて広く図書館を紹介する。	県民	随時	県図書館
4	ビジネス支援コーナーの充実	関係機関・団体・金融機関等から資料を収集・配架しコーナーの充実に努める。	県民	随時	県図書館
5	館内表示の工夫	来館者が利用しやすいように様々な工夫を行う。	県民	随時	県図書館

(2) 情報の拠点としての図書館

市町村図書館への支援・連携・協働

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	巡回相談	県内すべての市町村図書館訪問し、運営の相談や情報提供を行う。	市町村図書館	未定	市町村 図書館
2	公立図書館等連絡会議	市町村図書館支援、図書館の運営、相互貸借等の情報交換を行う。	図書館職員	未定	県図書館

3	公共図書館等研会 I	県内市町村図書館等の初任職員を対象に図書館職員としての基本的な研修を行う。	勤務経験 2年以内の 図書館職員 公民館 図書室担 当者	7月1日(金)	県図書館
4	公共図書館等 職員研修会 II~IV	公共図書館等の職員を対象に著作権法やレファレンスサービス等の研修を行う。	図書館職員 公民館図書室担 当者	9月16日(金) 11月4日(金) 12月16日(金)	県図書館

いつでもどこでもサービスが受けられる体制の充実

No.	事業名	内容	対象	期日	会場
1	図書館ネットワークシステムの整備	本館及び県内市町村図書館の蔵書を同時に検索できるシステムを整備するとともに、よりよいサービスの提供を目指し、次期システムを検討する。	県図書館	随時	県図書館
2	障がい者サービスの充実	郵送による貸出・返却サービスや音訳サービスなど障がい者サービスの充実に努める。	県図書館	随時	県図書館

調査研究に役立つ機能の充実

No.	事業名	内容	対象	期日	会場
1	課題解決に役立つ県内の施設の紹介	県内の高等教育機関、図書館類縁機関をホームページで紹介する。	県図書館	随時	県図書館
2	レファレンス事例の作成・公開	本館に寄せられた多くの問い合わせや質問の中から具体的な事例をホームページで紹介する。	県図書館	随時	県図書館

(3) 次世代を育成する図書館

郷土関係資料の維持・充実

No.	事業名	内容	対象	期日	会場
1	宮城に関する資料の収集	宮城に関する資料の収集と郷土関係論文目録データベースの充実を図る。	県図書館	随時	県図書館
2	宮城県の行政資料の収集	行政資料の収集と県職員向けの情報発信を行う。	県図書館	随時	県図書館

子どもの読書環境の充実

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	おはなし会	絵本・紙芝居の楽しさを共有・共感する機会を提供し、子どもの読書及び図書館利用の習慣を育てる。	県民	毎月 第1水曜日 第2金曜日、 第2土曜日 第3水曜日 第4金曜日 第4土曜日	県図書館 子ども 図書室
2	子どもの本展示会	前年に出版された児童図書を紹介し、新しく児童図書を購入する際の参考に供する。	市町村図書館 公民館図書室 学校図書館 県民	6月10日(金) ～6月23日 (木)	県図書館
3	子どもの本移動展示会 (県内市町村図書館向け)	「子どもの本展示会」で展示した資料を、県内市町村図書館等での展示会用に貸し出し、新しく児童図書を購入する際の参考に供する。	市町村図書館 公民館図書室	未定	市町村 図書館、 公民館 図書室
4	子どもの本移動展示会 (小学校向け)	過去に出版された名作を中心とした読み物と絵本のセットを、市町村小学校での展示会用に貸し出し、子どもの読書環境づくりや読書活動の普及に努める。	小学校	未定	小学校

「宮城県図書館次世代プロジェクト」の推進

No.	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	複製資料貸出事業	『坤輿万国全図』（国指定重要文化財）、『環海異聞』（宮城県指定有形文化財）、『源氏物語絵巻』や『枕草子』など、日本の文化や歴史を伝える資料のレプリカを貸し出す。	高等学校、 図書館、 公民館	随時	高等学校 市町村 図書館、 公民館
2	貴重資料の専門調査の実施	本館に継承された貴重資料の保存と活用を図るため、研究者による専門調査を実施する。		未定	県図書館
3	特別展・企画展	展示室において、貴重な所蔵資料等を広く一般に公開し、学術・文化の振興に資する。	県民	未定	県図書館
4	プロジェクト22	職員による研究成果などを県民に提供する。	県民	未定	県図書館
5	みやぎ県民大学 (再掲)	職員による本館資料を活用した講座を実施する。	県民	11月	県図書館
6	施設見学 (再掲)	学校や市民グループなど団体を対象とした施設見学を通じて、図書館の機能を紹介する。	市町村・学校 司書	随時	県図書館

7	図書館親子ツアー	親子を対象に閉架書庫など図書館の裏側を紹介する。	小学校低中学年児とその保護者	8月3日(水) 8月6日(土)	県図書館
---	----------	--------------------------	----------------	--------------------	------

(4) 震災復興関連事業

イ「震災文庫」の資料収集

- ①東日本大震災に関する報道資料
- ②震災に関する発行済み資料
- ③原子力発電事故に関する資料
- ④震災関連広報誌
- ⑤震災・復興をテーマにした展示資料
- ⑥NPO等各団体等活動記録など
- ⑦各市町村図書館が対応した震災被害者対応記録・資料

ロ「被災した市町村図書館・図書室等への支援事業」

- ①南三陸町図書館臨時開館に向けた人的支援
- ②南三陸町立小中学校への協力貸出
- ③女川町，七ヶ浜町，山元町立図書館への支援
- ④被災した県立高校図書館への支援

3 平成23年度図書館協議会

図書館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関。

第30次宮城県図書館協議会委員

平成23年4月1日現在

氏名	役職名	備考
鵜飼 信好	宮城県漁業信用基金協会 理事長	
小川 きょう子	小川ピアノ教室 主宰	
奥山 恒義	宮城県石巻西高等学校 校長	
齋藤 俊子	仙台市立八木山南小学校 校長	
千葉 和江	前 石巻市図書館 館長	
横田 隆雄	大和町公民館 館長	
渡辺 雅昭	(株)河北新報 編集局生活文化部長	

(任期：平成22年3月1日～平成24年2月29日)

V 資 料

1 特殊文庫

(1) 伊達文庫

もと仙台藩主伊達家の旧蔵書で、昭和24年に購入したもので、内容は和古書3,253点(19,197冊)、漢籍666点(9,980冊)、洋書251点(504冊)で合計4,170点(29,681冊)です。堀田正敦編の『禽譜』、光悦本『謡本』、大槻玄沢の『厚生新編』、仙台藩関係の絵図、古版本、古写本等の貴重資料が多数含まれています。

(2) 小西文庫

仙台の旧家小西家の蔵書で、昭和22年に同家より寄贈されたもので、和古書1,303点(3,147冊)、漢籍271点(1,213冊)で合計1,574点(4,360冊)です。大槻玄沢自筆の『育才呈案』、藤塚知明の名山蔵文庫本、古医学書ほか和漢の典籍が含まれています。

(3) 青柳文庫

仙台藩内から江戸へ出て成功した商人の青柳文蔵の寄付を基礎とした「青柳文庫」の旧蔵書です。明治14年の本館創立に際して、宮城師範学校から引き継いで、養賢堂蔵書とともに本館蔵書の母体になりました。内容は和古書311点(1,468冊)、漢籍156点(1,995冊)合計467点(3,463冊)です。

(4) 養賢堂文庫

仙台藩校「養賢堂」の旧蔵書で、明治14年の本館創立に際し、宮城師範学校から引き継いだもので、和古書196点(727冊)、漢籍67点(1,008冊)合計263点(1,735冊)からなっています。和古書と漢籍の善本に特色があります。

(5) 大槻文庫

『言海』の著者、大槻文彦の旧蔵書です。昭和25年、大槻家より寄贈されました。内容は和古書71点(215冊)です。いずれも大槻家の学問を知るための貴重な資料です。とりわけ『言海』の自筆原稿は白眉です。

(6) 今泉文庫

漢詩人、郷土史家の今泉篁州の旧蔵書で、昭和14年に寄贈されたものです。ほとんどが和書で78点(188冊)からなっています。

(7) 出来文庫

宮城県出身の英語学者・斎藤秀三郎(1866~1929年)の研究者である出来成訓教授(神奈川大学)から平成16年に寄贈されたものです。斎藤秀三郎の代表的著作『斎藤和英大辞典』(1928年)や斎藤が設立した正則英語学校(東京神田)の教科書類、講義録等251点が中心になっています。また、『英文鑑』(翻刻)等の日本の英学史における貴重な資料も含まれています。

(8) その他の文庫等

- ・「佐々久文庫」 元宮城県図書館長で郷土史家の佐々久氏寄贈の同氏所蔵コレクション
- ・「庄司文庫」 昭和53年に寄贈された政治家の庄司一郎氏の旧蔵書(和書を含む約8,700冊)
- ・「井上コレクション」 昭和63年まで約30年間、仙台で街頭紙芝居をしていた井上藤吉氏から平成7年に寄贈されたもの。(手描きの紙芝居 5,333巻, 52,925枚)
- ・宮城県出身の書誌研究者、庄司浅水氏の収集による近代文学作家の肉筆草稿・書簡類

(9) その他の貴重書

- ・坤輿万国全図(国指定重要文化財)
1602年(慶長7年)イタリア人宣教師マテオ・リッチが北京で刊行した世界図です。同版は、本館のほか京都大学附属図書館及びバチカン図書館の3館で所蔵が確認されています。(ほかに、世界図の部分を取り取って貼り直したものが内閣文庫に収蔵されています。)

2 所蔵資料目録刊行状況

(昭和29年以降)

刊行月日	目 録 名
昭和29. 4	宮城県図書館蔵郷土文献目録
37. 4	宮城県図書館蔵書目録 1. 郷土資料篇
38. 4	〃 2. 総記篇
39. 1	〃 3. 哲学篇
40. 1	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録
41. 3	宮城県図書館蔵書目録 4. 歴史篇
42. 3	〃 6. 自然科学篇
45. 3	〃 9. 芸術篇
46. 3	〃 10. 語学篇
47. 3	〃 8. 産業篇
48. 3	〃 5. (上)社会科学篇 政治, 法律, 経済
49. 3	〃 5. (下)社会科学篇 財政, 統計, 社会, 教育, 民俗, 軍事
52. 12	宮城県図書館所蔵戊辰史関係資料目録 (昭和52年12月現在)
53. 12	宮城県図書館所蔵仙台領内交通史関係資料目録 (昭和53年12月現在)
54. 3	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録 (昭和53年12月31日現在)
55. 3	宮城県郷土資料総合目録
56. 3	〃 一県人著作・行政資料篇一
57. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (昭和56年12月31日現在)
58. 3	小西文庫和漢書目録
59. 3	青柳・今泉・大槻・養賢堂文庫和漢書目録
60. 3	宮城県図書館漢籍分類目録
62. 3	伊達文庫目録
63. 3	宮城県内公共図書館所蔵逐次刊行物総合目録 (昭和62年 5月 1日現在)
平成元. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (第二編) (昭和63年12月31日現在)
2. 3	宮城県図書館所蔵雑誌所収児童文学関係文献目録
3. 3	宮城県図書館和古書目録
4. 3	宮城県郷土資料件名標目表
5. 3	宮城県図書館所蔵絵図・地図解説目録
6. 3	宮城県図書館の貴重書 (一般古書編)
9. 3	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM
10. 10	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM (1997年版)
12. 3	宮城県版 ISBN総合目録 CD-ROM (その後, 年2回の頻度で最新版に更新)
15. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 CD-ROM

平成16. 3	宮城県図書館所蔵紙芝居目録 CD-ROM
20. 3	宮城県図書館所蔵貴重書解説目録 『みやぎの叡智—宮城県図書館貴重書の世界—』

平成23年度 要覧

平成23年6月30日発行

宮 城 県 図 書 館

〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山一丁目1番地1

電 話 022-377-8441 (代表)

F A X 022-377-8484

<http://www.library.pref.miyagi.jp/>

本文用紙は白色度70%再生紙を使用しています。